

保存版

捨てずに保管
してください

富士見市

防災ガイドブック

(地震・洪水・内水・土砂災害ハザードマップ)

備蓄品例、マイ・タイムライン、避難方法、情報収集方法、etc...

もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害

ハザードマップとは

災害に関する情報と避難方法などを市民のみなさんに提供することにより、日頃からの防災意識を高めるとともに、いざというときに避難行動が安全かつスムーズに行われ、被害を最小限にすることを目的とした地図です。



地震

ハザードマップ

地震ハザードマップは、埼玉県が平成 24・25 年度に行った「埼玉県地震被害想定調査」における5つの地震（東京湾北部、茨城県南部、元禄型関東、関東平野北西縁断層帯、立川断層帯）のうち被害想定規模や発生確率などを総合的に勘案し、東京湾北部地震を想定地震としました。

この被害想定に基づき、「建物倒壊危険度」「揺れやすさ」「液状化可能性」を示しています。



洪水・内水

ハザードマップ

洪水・内水ハザードマップは、国土交通省が平成 28 年度に示した荒川水系荒川・入間川浸水想定区域及び、埼玉県が令和2年度に示した荒川水系新河岸川流域浸水想定区域図・水害リスク情報図をもとに作成した浸水想定区域図と、過去の台風や集中豪雨などによる富士見市の浸水実績を重ね合わせて、荒川・入間川及び新河岸川・柳瀬川の氾濫等により浸水するおそれのある地域を示しています。

※洪水ハザードマップについては、水防法の規定に基づき作成されたものです。



土砂災害

ハザードマップ

土砂災害ハザードマップは、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」（土砂災害防止法）に基づき、埼玉県が平成 26 年度、平成 27 年度に指定した土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の情報を示したものです。

土砂災害ハザードマップは、がけ崩れなどが発生した場合に被害を受けるおそれのある地域や土砂災害に関する情報を示しています。

防災ガイドブックの使い方

防災ガイドブックは、地震・洪水・内水・土砂災害の各災害に対する備えや対処方法、避難所、防災情報の入手方法など、災害時に役立つ情報をまとめたものです。このガイドブックを普段から目につきやすい場所に保管して、もしものときに備えて家族で話し合いをしておくようにしましょう。

1 まず、ご自身が住んでいる場所に災害の危険があるか確認しましょう

2 次に、自分たちが避難する場所に印をつけましょう

3 さらに、避難経路を実際に歩いて確認しましょう



火事・救急

119 番

警察

110 番

災害用
伝言ダイヤル

171 番

発行：富士見市

発行日：令和 7 年 3 月

所在地：〒354-8511 富士見市大字鶴馬 1800 番地の 1
TEL.049-251-2711(代表)
FAX.049-251-2760

ホームページ：

<http://www.city.fujimi.saitama.jp/>

発刊にあたって



富士見市長 星野 光弘



近年は全国各地で地震や台風、集中豪雨、土砂災害等の大きな災害が発生しています。

本市においても平成28年の台風9号や平成29年の台風21号、令和元年の台風19号では浸水被害や道路冠水等の被害が発生しました。

また、世界的な感染症の感染拡大により、新しい生活様式に基づいた避難所運営を行うなど、災害対応の面でも新たに配慮すべき点が出てきております。

市では、災害による被害を軽減するため、県や近隣自治体と連携し雨水排水施設の整備・改修に取り組んでいるほか、感染症対策用の物資を含め災害用備蓄品の増強を図り、各種防災計画やマニュアル等の策定や更新等を実施するなど、さまざま防災・減災施策を推進しております。

しかし、災害時に被害を最小限に抑えるためには、市民の皆様一人ひとりが自分（家族）の安全は自ら守るという「自助」の意識、自分たちの地域は皆で協力して守るという「共助」の意識を持ち、日頃から災害に備えていただくことが大変重要です。

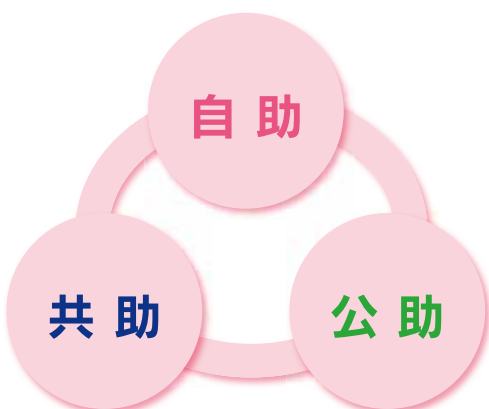
このたび作成した「富士見市防災ガイドブック」は地震・洪水・内水・土砂災害のハザードマップを1冊にし、市民の皆様に備えていただきたいこと等をまとめたものとなっております。

ぜひ、本ガイドブックをご覧ください、お住まいの地域のハザードを事前に確認いただくとともに、一人ひとりの防災行動計画である「マイ・タイムライン」の作成方法も掲載しておりますので、そちらを参考に各ご家庭で「マイ・タイムライン」を作成いただくなど、災害時に適切な行動がとれるよう準備をしていただきたいと思います。

災害の発生に備え、富士見市は国・埼玉県等の関係機関と協力しながら、さまざまな防災対策を実施しています。しかし、災害から一人でも多くの命を守るためには、市民一人ひとりや地域の方々の協力が欠かせません。

自助・共助・公助で 防災力を高める

大規模災害の発生時、市や消防、警察などが迅速に救出・救助、消火活動ができるようにするためにも、市民一人ひとりが地域の人たちと協力しながら率先して行動することが大切です。



自助

自分（家族）の身体・命を自分で守ること

主な取り組み

- 家庭での備蓄（非常用持出品、備蓄品）
- 住宅の耐震化、家具の転倒防止
- 被災時の連絡手段・安否確認手段の確認
- 避難所・避難経路の確認



共助

近所や地域コミュニティ、自主防災組織、企業などが共に助け合うこと

主な取り組み

- 自主防災活動への参加
- 地域の防災訓練の実施
- 災害発生時の安否確認、避難誘導
- 地域の高齢者、障がい者等の支援

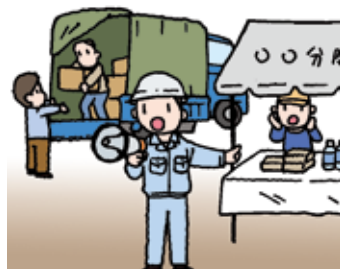


公助

行政機関、消防、警察などによる救助・支援

主な取り組み

- 防災対策の整備
- 地域防災計画の策定、実施
- 災害復旧への取り組み
- 自助、共助への支援
- 防災訓練の実施



日頃からの備え

日頃から災害に備えて家屋の点検や補強を行うとともに、家族の役割分担を決めたり非常用持出品の準備をしましょう。また、万一避難することになった場合には、冷静に状況判断をして安全な避難を心がけてください。

日頃から確認しておくこと

家族みんなで備える

日頃から家族で話し合い、災害時の連絡方法や家族の役割分担、避難時の集合場所や避難所を確認しておきましょう。



家族の役割分担を

避難するときに持ち出す荷物を担当する人、火の始末をする人、電源（ブレーカー）やガスの元栓を締める人、高齢の方の安全を守る人などの役割を決めておきましょう。



非常用持出品は

避難するときの荷物は必要最小限とし、食料はかさばらない栄養補助食品や保存食を選びましょう。

感染症対策用品も忘れずに準備しましょう。



避難所と避難経路の確認を

このハザードマップを確認して、自宅や学校・勤務先から避難する場所の避難経路を確認しておきましょう。平常時には実際に歩いて安全に通行できるかを確認しておきましょう。市が開設する避難所のほかに、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅への避難も検討しておきましょう。



防災訓練に参加しましょう

市や町会・自主防災組織等は、さまざまな防災訓練を実施しており、それぞれの訓練では、起震車体験、初期消火訓練、各種資機材使用訓練などを行っております。

みなさんの地域で行われている防災訓練へ参加し、防災意識を高めるとともに、もしものときに備えましょう。



「もしもの準備」

避難行動要支援者の支援について

災害時に、自ら避難することが困難で特に支援が必要な高齢の方や障がいをお持ちの方等（避難行動要支援者）の避難を支援し生命・身体を災害から守ることは重要です。

富士見市では災害時における避難行動要支援者の円滑な支援を行うため「避難行動要支援者名簿」を作成するとともに、避難行動要支援者ごとに具体的な支援方法を記載した「個別計画」の作成を推進しています。「個別計画」には、災害発生時に避難支援を行う方や避難支援を行う上で留意する点、避難支援の方法や避難場所、避難経路などを記載します。

高齢の方や障がいをお持ちの方等は、災害時に避難行動や避難所での生活で困難な状況に置かれることが多くあります。周囲の方々は、災害発生時の安否確認をはじめ、避難誘導、避難所での生活の支援など、積極的な支援・協力をお願いします。

問い合わせ 福祉政策課 TEL.049-251-2711(代表)

もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害

日頃からの備え

大規模な災害が発生すると、ライフラインの被害などにより物資が不足する事態も予想されます。食料品や生活に必要な物品を最低3日分（できれば1週間分）準備しておきましょう。

備蓄品

大きな災害の後には、電気・ガス・水道などのライフラインが止まることが考えられるので、備蓄品を準備しておきましょう。

飲料水・生活用水

☐ 3日分の飲料水の備蓄
(1人×3リットル×3日)

☐ 飲料水



☐ 水筒



食料品等

☐ 3日分の食料の備蓄

☐ レトルト食品



☐ おやつ



☐ 缶詰



☐ 紙コップ



☐ スプーン



☐ ラップ



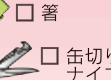
☐ 簡易食器



☐ 粉ミルク



☐ 箸



☐ 缶切り
ナイフ



医薬品等

☐ 救急用品（消毒液、傷薬、ガーゼ、包帯、ばんそうこう）



☐ カット綿



☐ 使い捨て
カイロ



☐ はさみ



停電への備え

☐ 懐中電灯（大型/小型）



☐ 予備の電池



情報

☐ ポータブル
ラジオ



☐ 携帯電話・スマートフォン



燃料の備え

☐ ボンベ



☐ 卓上カセットコンロ



☐ 固形燃料



衣類等・衛生用品



☐ 衣類



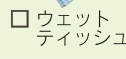
☐ 軍手



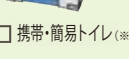
☐ ゴミ袋



☐ 紙おむつ



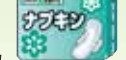
☐ ウェット
ティッシュ



☐ 携帯・簡易トイレ^(※)



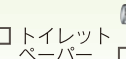
☐ ティッシュ



☐ トイレ
ペーパー



☐ タオル

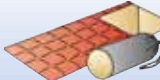


☐ 生理用品



☐ 歯磨き用品

その他



☐ 寝袋



☐ ライター



☐ 筆記具
マーカーペン



☐ ランプ



☐ 新聞紙

非常用持出品

☐ 非常用持出袋 ☐ 現金（小銭）



☐ ヘルメット



☐ モバイル
バッテリー



☐ レインコート



☐ 通帳



☐ カード



☐ 常用薬



☐ 健康保険証

☐ 健康保険証

感染症対策用品

☐ マスク



☐ 消毒液



☐ 体温計



【1日分の食料】

☐ 非常食



☐ かんぱん



☐ 飲料水



「もしも」
への準備

マンションや高層ビルの災害対策

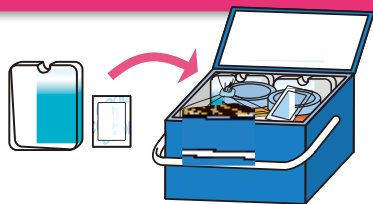
マンションやオフィスビルなどの中・高層建築物では、地震発生時に上層階は大きく揺れるので家具の固定をしっかりと行うことが重要です。また、停電によるエレベーターの停止、給水ポンプや受水槽、配管の被害による上下水道の断水など、ライフラインが寸断される可能性があります。エレベーターが停止すると、復旧までに長い時間がかかるため、階段の昇り降りや物資等の運搬が困難となり、住宅やオフィスが孤立するおそれがあります。日頃からマンションやオフィスに食料や飲料水、携帯トイレなど災害時に必要な物品を備えておきましょう。



被災直後の食事

【被災時(1日目～3日目)】

- 冷蔵庫・冷凍庫にある傷みややすいものから食べる
- 停電時はクーラーボックスに保冷剤と食べ物を入れて保存する



【被災時(4日目～7日目)】

- 缶詰、レトルト食品等、比較的保存が利くものを食べる
- ローリングストック法により備蓄したものを食べる



ローリングストック法による食料品・日用品備蓄

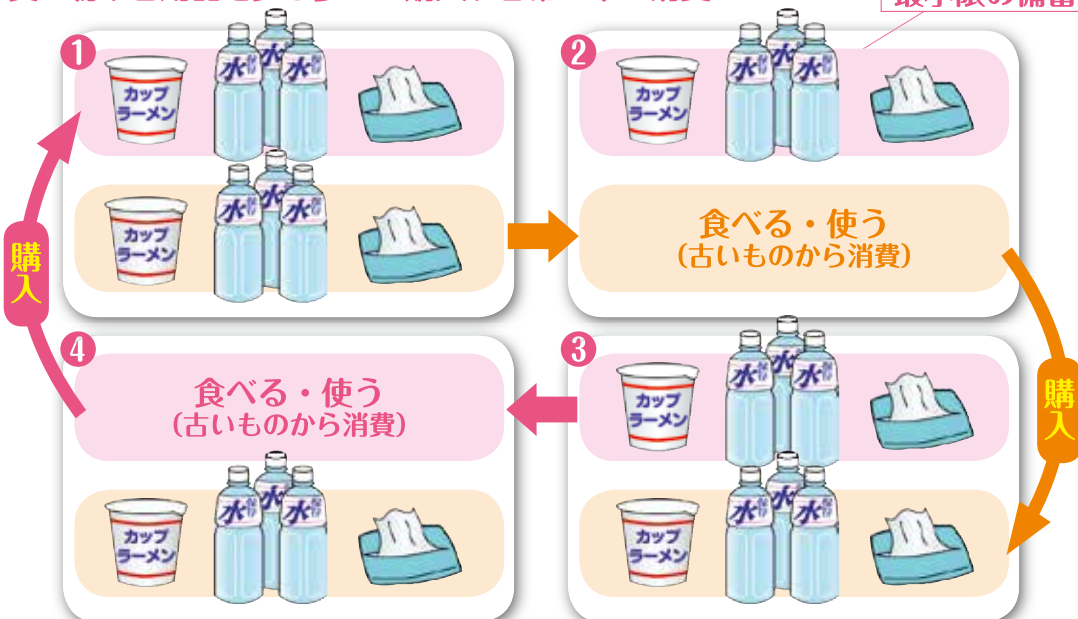
日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、災害時に自宅である程度生活することが可能となります。常温保存が可能なもの(カップめん・袋ラーメン等)や、そのまま食べられるレトルト・加工食品(ごはん・おかず・汁物等)、賞味期限が長いものなど普段から食べられるものが良いでしょう。またトイレットペーパーなどの日用品も余分に1セット用意しておきましょう。

必要分より多めに備え、日常の中で随時消費補充する備蓄方法なので特別な準備は必要ありません。このような備蓄方法を「ローリングストック法」といいます。

ローリングストック法のイメージ

食べ物や日用品を少し多めに購入、日常の中で消費

最小限の備蓄品目・量



詳しい備蓄品の参考例は防災首都圏ネット(九都県市ホームページ)をご覧ください。
<http://www.9tokenshi-bousai.jp/stock/rollingstock.html>



備蓄向けの食料品

レトルト食品

普段から食べているものを用意する
 賞味期限: 2年～3年程度



缶詰

肉や魚のほか、野菜や果物の缶詰で
 栄養バランスを
 賞味期限: 2年程度



乾麺(袋ラーメン、パスタ等)

ゆで時間が短いものを選ぶ
 賞味期限: 6ヶ月程度



フリーズドライ食品(スープ等)

少量のお湯で温かいものが食べられ、
 野菜もとれる

賞味期限: 1年程度



もしもの備え

地震

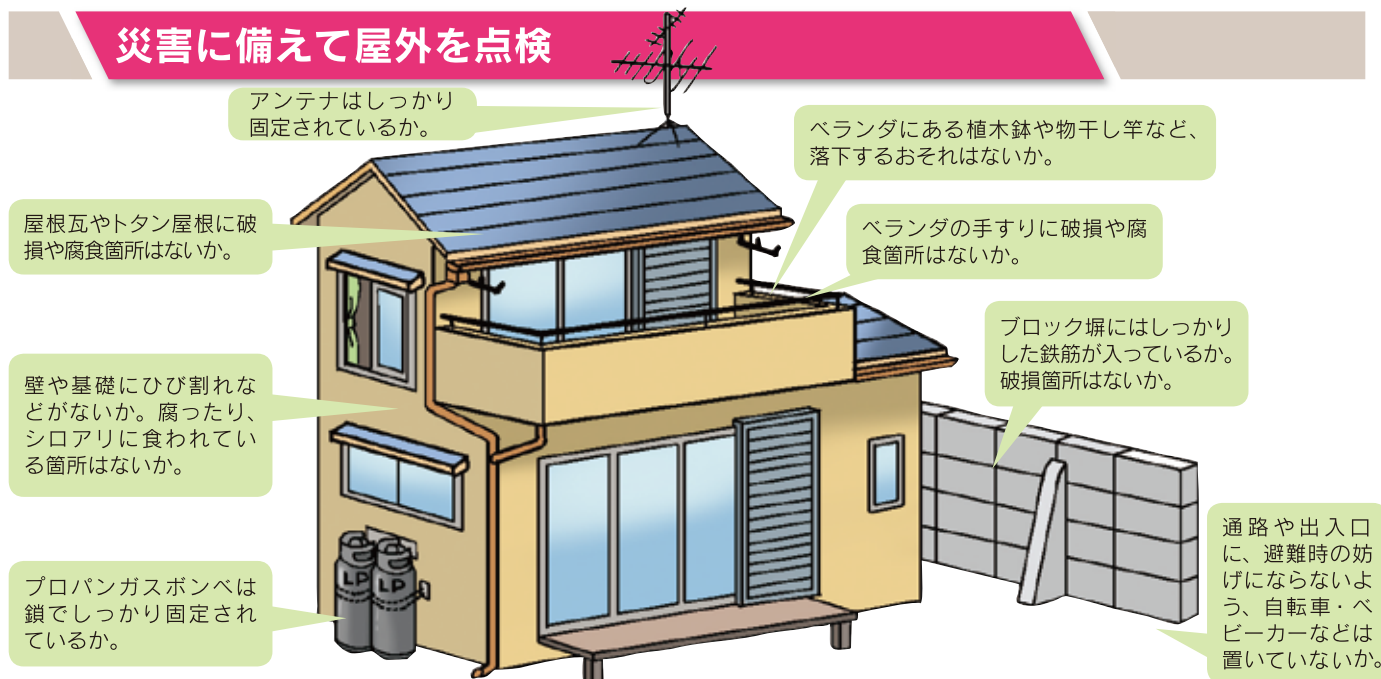
洪水・内水

土砂災害

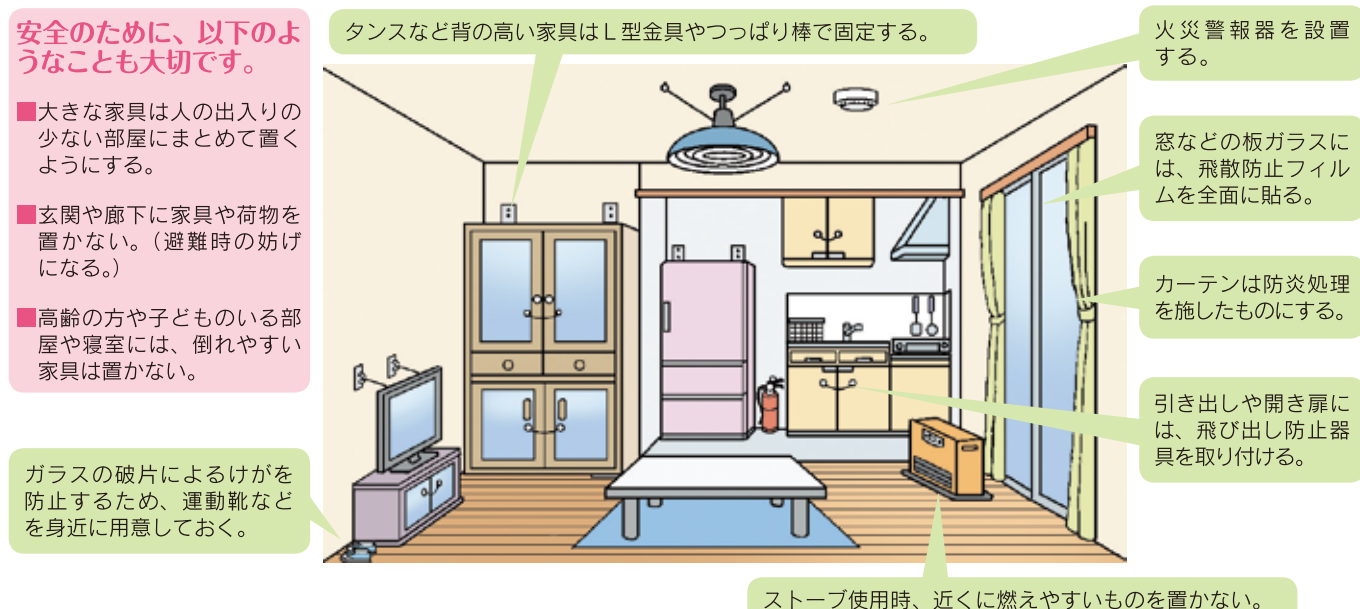
日頃からの備え

災害対策は、行政だけでできるものではありません。個人の生命や財産を守るためには、**みなさん一人ひとり**はもちろん、**家族が協力して**災害に備えておく必要があります。地震や水害などに備えて、**ご自宅の屋外・屋内、周囲について、災害に対する安全性を点検しておきましょう。**

災害に備えて屋外を点検



災害に備えて屋内を点検



「もしも」への準備

耐震化についてご相談ください

富士見市では、木造住宅の簡易耐震診断や、耐震改修した住宅に対する減税措置などの窓口を設置しています。

問い合わせ

■ 木造住宅の簡易耐震診断

建築指導課……………TEL.049-251-2711

川越建築安全センター…TEL.049-243-2102

■ 耐震改修後の住宅に固定資産税の減額措置

税務課……………TEL.049-251-2711

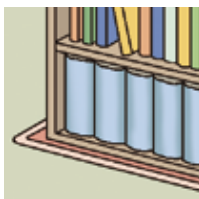
家具類の安全対策

大きな地震では、家具の転倒や食器等の散乱により、避難が遅れたりケガをすることもあります。これらのケガを防ぐために、自宅の家具にL字金具等を取り付け、家具の転倒防止を行いましょう。

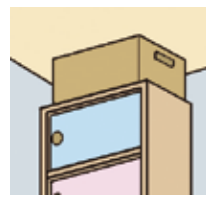
壁への穴あけ等が難しい賃貸住宅では、つっぱり棒や粘着性マットなどを効果的に使用して備えましょう。

すぐできる転倒防止対策

- 家具の下に滑り止めマットを敷く。
- 重いものを下に、軽いものを上に収納して倒れにくくする。



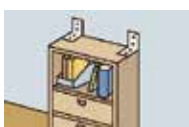
- 家具と天井の隙間を、弱粘着性のマットを挟んだダンボール箱などでつめ、天井と箱の隙間は2cm以内にする。



家具類の転倒防止

【タンスなどの大型家具】

- L型金具やベルト式器具などで家具と壁を固定する。



- ストッパー式器具で家具を壁側に傾斜させる。



- 家具と天井の間をつっぱり棒などで固定する。



【液晶テレビ】

- テレビ本体とテレビ台をボルトなどで固定する。



- テレビ本体とテレビ台をストラップ式器具や粘着性マットなどで固定する。



- テレビ本体と壁や柱をロープとヒートン（金具）などを利用して連結する。

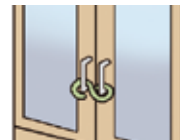


【その他の転倒防止対策】

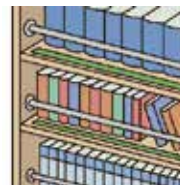
- 二段重ねの家具は、連結固定器具で上下を連結して一体化させる。



- 引き出しや開き扉には、飛び出し防止器具を取り付ける。



- 本棚などには、落下を防ぐ抑制テープや器具を取り付けるか、すべり止めシートを敷く。



感震ブレーカー

感震ブレーカーとは？ 強い揺れを感じると自動的に電気の供給を遮断する器具です。破損した電化製品や電気配線が通電時に発火することなどが原因として発生する「通電火災」を防ぐことができます。

1. 配電盤型

分電盤に電気遮断機能をつけたもの。基本的に全ての電気が遮断されます。



2. コンセント型

コンセントに差し込むタイプと、既存のコンセントと取り替えて差し込むタイプがあります。



3. その他（簡易タイプ）

分電盤におもり玉などを貼り付け、玉の落下により電気を遮断するものがあります。



「もしもの準備」

家具転倒防止器具等の設置を

阪神淡路大震災では、負傷者は約43,800人にのぼり、その多くは家具の転倒等によるものでした。また通電火災による被害も多くありました。ご自宅に家具の転倒防止器具や感震ブレーカーを設置し、これらの被害を抑制しましょう。

富士見市は家具の転倒防止器具の設置に関する補助や相談を行っています。

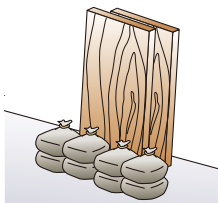
問い合わせ 危機管理課 TEL.049-251-2711(代表)

日頃からの備え

水害への備えと点検

■浸水への事前準備

浸水に備え、日頃から土のう、止水板、排水設備等の準備・点検などを心がけましょう。なお、富士見市では希望する方に土のうを貸出しています。また一部の集会所等にも、土のうを常備しています。大雨が予想される場合は早めの対応を心がけましょう。



■大雨に備えて周囲を点検

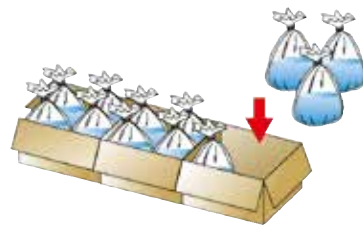
家の雨戸が傷んでいないか、雨どいがつまっていないか確認しましょう。日頃から家の周囲の側溝や雨水ますの清掃を心がけ、道路の冠水や住宅への浸水を防ぎましょう。雨水排水口を車乗入れ用のブロックなどでふさがないように気をつけましょう。

■簡単な土のうや水のうの作り方

浸水の水深が浅い段階なら、家庭にあるものを活用した応急処置で対処が可能です。

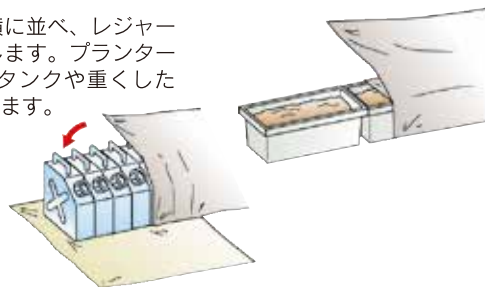
ごみ袋を利用

大きめのごみ袋などを二重にし、中に半分程度の水を入れ、すき間なく並べます。段ボールに入れて連結すると強度が増し、積み重ねることもできます。



シートを利用

土を入れたプランターを横に並べ、レジャーシート等で巻き込んで補強します。プランターの代わりに水を入れたポリタンクや重くしたビールケースなども利用できます。



雪害について

市内でも、年に数日積雪があるので、他の災害と同じように事前に対策を検討し、万一来て備えておくことが大切です。

積雪があった際には、ご自身や周辺の方々と協力し、ご自宅や周辺の道路等の除雪を行っていただきますようお願いいたします。

大雪への備え

- スコップなど除雪用具を常備しましょう。
- 積雪による流通の寸断に備え、水・食料・燃料（灯油）などを備蓄しましょう。
- 家屋やカーポートなどの耐雪化に取り組みましょう。



「もしも」への準備

竜巻から身を守る

竜巻は、台風や寒冷前線、低気圧などにもなって発生する突風の一種で、季節を問わず全国で発生しています。竜巻の発生を事前に予測することは難しく、発生すると甚大な被害が出る場合があります。竜巻の危険性を知り、身の安全を守るための情報入手や避難行動を確認しましょう。

【積乱雲の前兆】

- 黒い雲が近づき周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

【竜巻の前兆】

- 雲の底から地上に伸びる漏斗状の雲が見える。
- 飛散物が筒状に舞い上がっている。
- いつもと違う「ゴー」という音がする。
- 気圧の変化で耳に異常を感じる。

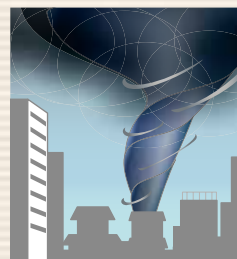
【竜巻から身を守る】

屋外では

- 丈夫な建物の物陰に入り身を小さくする（物置や車庫、プレハブの中は危険）。
- 電柱や太い樹木は倒れる危険があるので近づかない。

屋内では

- できるだけ低い階の部屋に移動する。
- 窓やカーテンを閉め、ガラス窓から離れる。
- 丈夫な机やテーブルの下に入り、身を小さくして頭を守る。



避難生活

大規模な災害が発生した場合、自宅または市が開設する避難所で避難生活を送ることになります。

避難生活

在宅避難

発災後など自宅で住み続けることが可能な場合、自宅で生活を送ることが基本となります。安全な地域にいる方は避難所ではなく、自宅で避難しましょう。平常時に備蓄していた食料、飲料水、携帯トイレ等で生活を送ります。



避難所等への避難

自宅を離れて避難所で生活することは、慣れない避難生活となることからストレスや過労などにより体調を崩してしまうことも考えられます。少しでも負担を減らすため避難所では決められたルールを守り、避難生活者同士で協力して支え合うことが大切です。

また、市が開設した避難所以外にも親戚・知人宅への避難も検討してください。



避難所生活の心得

【生活ルールを守りましょう】

- 起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所、ペット同伴の可否など避難所のルールを守りましょう。
- ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声をあげたりするのはマナー違反です。



【役割分担して運営に参加しましょう】

- 避難者もできる範囲で、受け付けや清掃、炊き出し、物資の配布など役割分担をしましょう。
- 助け合いながら避難所運営に参加しましょう。



【健康の管理に気を付けましょう】

- エコノミークラス症候群を予防するために、適度な運動と水分補給をしましょう。
- 熱中症予防のため、水分補給、室温調整、衣服の工夫をしましょう。



【犯罪に気を付けましょう】

- 避難所では窃盗や詐欺、性犯罪、押し売りなどの犯罪に注意して、怪しい人を見かけたら、警察官や施設担当者に連絡しましょう。



【食物アレルギー等の方々】

- 日頃から自分が食べられる食料を備蓄しておくようにしましょう。
- 自分が食べられる食料が備蓄されているか事前に確認しておきましょう。
- 被災したときに食物アレルギーであることが周りの人に分かってもらえるように工夫しましょう。



【高齢の方や障がいをお持ちの方】

- 避難する場所を事前に確認して、まわりの人に災害時に避難の協力をしていただけるコミュニケーションをとっておきましょう。



【感染症対策の徹底をしましょう】

- こまめに石鹸で丁寧に手を洗い、うがいをしましょう。
- アルコール消毒液等により、手指消毒を行なうほか、手すりやドアノブなどの多くの人が触れる場所を定期的に消毒しましょう。
- 十分に換気を行いましょう。
- マスク等を着用するなど咳エチケットを徹底しましょう。
- 発熱等の症状がある方は、他の避難者の方と別のスペースで生活していただきますので、ご協力ください。



【女性の方】

- 更衣室の利用方法、衣類や生理用品・薬などの物資の配布、女性専用の洗濯場所やトイレなど女性への配慮が必要です。避難所の運営などに女性の意見を活かしていくことが重要です。



【ペットのしつけと備蓄品の確保】

- ペットとの同行避難に備えて、日頃からケージに入ることや首輪等に慣らしておく、決められた場所での排泄、犬の場合は「待て・おいで」、むやみに吠えない等、ペットのしつけをしておきましょう。
- また避難先においてはペットの飼育に必要なものは、基本的に飼い主が用意する必要があるため、ペットフードやケージなど必要なものを準備しておきましょう。



災害時の連絡方法と防災情報の入手

災害時の連絡方法

NTT 災害用伝言ダイヤル（171）

災害時に、固定電話、携帯電話・PHS等の電話番号宛に安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、全国からその音声を再生（確認）することができます。

体験利用提供

災害発生に備えて利用方法を事前に覚えていただくことを目的として、体験利用日を設けています。

体験利用日

毎月1日、15日 00:00～24:00

防災週間（8月30日 9:00～9月5日 17:00）

1月1日 00:00～1月3日 24:00

防災とボランティア週間（1月15日 9:00～1月21日 17:00）

伝言の
録音方法

伝言の
録音再生法

171
にダイヤル

ガイダンスが流れます

録音の場合

1

自分の電話番号

(×××) ×××・××××

再生の場合

2

相手の電話番号

NTT 災害用伝言板（web171）[URL] <https://www.web171.jp/>

パソコンやスマートフォンなどから、固定電話や携帯電話・PHSの電話番号を入力して安否情報（伝言）の登録、確認を行うことができます。

携帯電話・スマートフォンの災害用伝言板

携帯電話・PHSのインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字登録すると、携帯電話・PHS番号から伝言を確認できます。スマートフォンでの利用方法は、各社ウェブサイトを確認してください。

* 伝言はPC等からも確認可能です。

NTT ドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/>

ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>

KDDI (au) <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

ワイモバイル <http://dengon.softbank.ne.jp/>

楽天モバイル <https://network.mobile.rakuten.co.jp/>

防災情報の入手



富士見市 LINE

ふだんは、市からのお知らせやイベント情報を発信しています。災害時には、避難情報や避難所開設情報などの防災情報を発信しますので、友だち登録をお願いします。

※防災行政無線（同報系）の放送内容について、市公式LINEでの通知の連携を開始いたしました。



Yahoo! 防災速報

スマートフォンアプリをインストールしておくことで、気象情報や地震情報などが確認・通知されます。

住んでいる市町村を登録することで、その市町村での大雨情報や避難情報、地震情報等の防災情報が通知されます。

また、避難所開設情報など、富士見市独自の情報も通知されます。



防災行政無線電話応答サービス

市民のみなさんへ災害情報などをお知らせする防災行政無線の放送が雨や周辺の音と重なり、聞き取りにくい場合や、聞き逃した場合など放送した内容を電話で確認することができるサービスです。

放送内容を確認したい方は、下記の電話番号にダイヤルし、案内に従って操作してください。

TEL.049-265-3030（24 時間対応）

防災情報サービス

J:COM が提供する「防災情報サービス」を利用し、緊急地震速報受信端末を設置することで、富士見市からの防災行政無線放送や気象庁からの緊急地震速報等の行政告知放送を屋内で聞くことができます。

※このサービスをご利用になるには J:COM の防災情報サービス（有料）への加入及び専用端末の設置等が必要となりますので、ご了承ください。

■富士見市 防災メール

緊急時の防災行政無線の放送内容をメール配信。
<https://www.city.fujimi.saitama.jp/45online/2011-0527-1612-126/2011-0523-1012-126.html>



■埼玉県 防災情報メール

事前登録により、気象警報や地震などの防災情報を配信。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0402/903-20091202-28.html>



■埼玉県防災ポータルサイト

県内の避難情報や天候などの情報
<https://www.pref.saitama.lg.jp/theme/anzen/index.html>



■停電情報（東京電力パワーグリッド）

停電発生状況などがわかります。
<https://teideninfo.tepco.co.jp/>



もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害



震災から身を守る

地震が起きた場合、いる場所や時間の経過とともに取るべき行動が変わってきます。大きな揺れを感じたら、まずは身の安全を守り、揺れがおさまってから行動しましょう。

日頃から家族の役割分担を決めたり、非常用持出品の準備をしましょう。また、万一避難することになった場合には、冷静に状況判断をして安全な避難を心がけてください。

地震発生時の避難行動

一斉安全確保（シェイクアウト）

地震発生！



※イラスト提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

地震の揺れから身を守る「安全行動①-②-③」

- ①まず低く…強い揺れで自分が倒れる前に体勢を低くして地面に近づく。
- ②頭を守り…固定された机やテーブルの下に入って（なければ腕や荷物で）頭を守る。
- ③動かない…揺れが止まるまで動かず、じっとしている。慌てて外に出ない。

自宅や建物内にいる場合

揺れを感じたら

【身の安全を守る】

- テーブルや机の下などに身を伏せる。
- 座布団やクッションなどで頭を守る。
- 揺れがおさまるのを待つ。



【火元を確認】

- 揺れているときに火を消すのはナベなどが倒れて、ヤケドのおそれがあり危険。
- 揺れがおさまったらすべての火を消す。
- 避難するときはガスの元栓を開め、電気のブレーカーを切る。



【出口を確保する】

- 玄関や窓を開けて出口を確保する。
- 玄関や窓が再び閉まらないように、手近なものを挟みこんでおく。



【落ち着いて行動する】

- 慌てて外に飛び出さない。
- 割れたガラスの破片などでけがをしないように運動靴等を履く。



揺れがおさまったら

【家族の安否を確認】

- 声をかけて家族の安否を確認する。
- 離れている家族とは、あらかじめ決めておいた方法で安否を確認する。（集合場所に集まる、災害用伝言ダイヤルの利用、親類への伝言など）



【近所の人の安否を確認】

- 近所の人に声をかけて安否を確認する。
- 身体の不自由な方やお年寄りには特に注意を払う。
- マンションの場合は、エレベーターに人がとりに残されていないか確認する。



【正しい情報を入手する】

- テレビやラジオ、防災行政無線などから正しい情報を入手する。
- デマやうわさに惑わされない。



【みんなで避難】

- なるべく複数人で集まって避難する。



外出先にいる場合

揺れを感じたら

【道路・路地】

- ブロック塀や自動販売機、電柱など転倒・倒壊のおそれがあるもののそばから離れる。
- 窓ガラスや看板などの落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する。



【繁華街・大きな建物】

- 商品棚から離れ、柱や壁際に身を寄せる。
- 最新のビルや地下街は、耐震性が高いので、無理に外には出ない。
- 店舗では場内放送や係員の指示に従って行動する。



【地下街】

- 停電時は、非常照明がつくまで落ち着いて待つ。
- 館内放送や係員の指示に従い、落ち着いて避難する。
- 火災発生時は、ハンカチなどで口と鼻を覆い、壁伝いに這うようにして移動する。



【エレベーター内】

- すべての階のボタンを押し、最初に停止した階で降りる。
- 閉じ込められた場合は、非常電話で助けを求める。



【運転中】

- 徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車してエンジンを切る。
- 揺れがおさまるのを待ち、カーラジオで情報入手する。
- 避難するときはキーはつけたままにし、ドアをロックしない。



【電車・バス】

- 立っている場合はすり革、手すりにつかまり、緊急停車・急ブレーキに備える。
- 座っている場合は姿勢を低くして頭部を守る。
- 乗務員の指示に従う。



津波から身を守る

旅行先など海岸や海に近い場所で地震を感じたら、揺れへの対応に加え、津波に注意しましょう。

- 「強い揺れ」や「弱くても長い揺れ」を感じたり、「津波警報」「津波注意報」を見聞きしたら、すぐに避難を始め、高台や避難ビルなど安全な場所へ避難しましょう。
- 津波は何度も発生し、あとから来る津波の方が高くなる場合があります。
- 「津波警報」「津波注意報」が解除されて安全が確認されるまでは、決して海岸には近づかないようにしましょう。
- あらかじめ「津波避難場所」や「津波避難ビル」の場所、高台などへの経路を確認しておきましょう。

津波標識



津波注意



津波避難場所



津波避難ビル

「もしも」への準備

災害後の支援

罹災証明書の発行

市では、お住まいが災害被害に遭われた場合に、その後の支援を受けるために必要な「罹災証明書」を発行しています。発行には、被害状況等を確認する必要があるため、速やかな申請をお願いします。

被災者への支援制度

災害により、家屋の全壊、床上浸水等の大きな被害を受けた方に対し、住民税や固定資産税、国民健康保険税等の猶予や減免などの制度があります。この支援制度を受けるためには、「罹災証明書」が必要です。

もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害



避難所と避難場所

富士見市の指定避難所、指定緊急避難場所を掲載しています。お住まいの地域ごとに避難する避難所を限定していませんので、あらかじめお近くの避難所を2か所以上確認しておきましょう。

指定避難所・指定緊急避難場所

番号	施設名	指定避難所			指定緊急避難場所				所在地
		洪水	土砂災害	地震	洪水	土砂災害	地震	大規模な火事	
①	鶴瀬小学校	○	○	○	○	○	○	○	羽沢 2-1-1
②	水谷小学校	○	○	○	○	○	○	○	水谷 1-13-3
③	南畑小学校	△	○	○	△	○	○	○	上南畑 1280
④	関沢小学校	○	○	○	○	○	○	○	関沢 3-24-1
⑤	勝瀬小学校	△	○	○	△	○	○	○	勝瀬 674
⑥	水谷東小学校	△	○	○	△	○	○	○	水子 3614
⑦	諏訪小学校	△	○	○	△	○	○	○	鶴馬 1932-1
⑧	みずほ台小学校	○	○	○	○	○	○	○	東みずほ台 3-21
⑨	針ヶ谷小学校	○	○	○	○	○	○	○	針ヶ谷 2-38-1
⑩	ふじみ野小学校	○	○	○	○	○	○	○	ふじみ野東 4-4-1
⑪	つるせ台小学校	○	○	○	○	○	○	○	鶴瀬西 2-9-1
⑫	富士見台中学校	○	△	○	—	—	—	—	諏訪 2-8-1
⑬	本郷中学校	△	○	○	—	—	—	—	水子 539
⑭	東中学校	△	○	○	—	—	—	—	上南畑 980
⑮	西中学校	○	○	○	—	—	—	—	西みずほ台 3-14-6
⑯	勝瀬中学校	△	○	○	—	—	—	—	勝瀬 400-1
⑰	水谷中学校	△	○	○	—	—	—	—	水子 3117
⑱	鶴瀬公民館	○	○	○	—	—	—	—	羽沢 3-23-10
⑲	南畑公民館	△	○	○	—	—	—	—	上南畑 306-1
⑳	水谷公民館	○	○	○	—	—	—	—	水谷 1-13-6
㉑	水谷東公民館	△	○	○	—	—	—	—	水谷東 2-12-10
㉒	鶴瀬西交流センター	○	○	○	—	—	—	—	鶴馬 3575-1
㉓	関沢児童館	○	○	○	—	—	—	—	西みずほ台 1-7
㉔	ふじみ野交流センター	○	○	○	—	—	—	—	ふじみ野東 3-7-1
㉕	針ヶ谷コミュニティセンター	○	○	○	—	—	—	—	針ヶ谷 1-38
㉖	みずほ台コミュニティセンター	○	○	○	—	—	—	—	西みずほ台 1-19-2
㉗	ピアザふじみ	○	○	○	—	—	—	—	ふじみ野東 1-16-6
㉘	健康増進センター	△	○	○	—	—	—	—	鶴馬 3351-2
㉙	市民総合体育館	△	○	○	—	—	—	—	鶴馬 1887-1
㉚	県立富士見高校	△	○	○	—	—	—	—	上南畑 950
㉛	大井小学校	○	○	○	—	—	—	—	ふじみ野市苗間 37
㉜	大井東中学校	○	○	○	—	—	—	—	ふじみ野市ふじみ野 3-2-1

○…対象施設を表します △…災害の状況により洪水時や土砂災害時等においても避難所が使用可能と判断される場合は開設します

指定避難所①～③②

■地震や洪水が発生したとき、被災した市民が避難生活を送る避難所です。主に小中学校、公民館などが指定されており、必要に応じて開設されます。なお、指定避難所での生活が困難な方を受け入れる2次避難所として災害対策本部が必要と判断した場合、福祉避難所を開設します。

指定緊急避難場所兼指定避難所①～⑪

■災害発生時、市民が身の安全を確保するため、倒壊や延焼等から緊急的に避難する広い場所です。

福祉避難所一覧についてはこちら





地震ハザードマップ

建物倒壊危険度マップ

■建物倒壊危険度とは？

揺れやすさ(東京湾北部地震)と市内の建築物データを基に、揺れやすさのマップで示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を危険度として、地震による揺れによって発生する建物被害想定を分布図により評価して示したものです。

この「危険度」は、建物被害の原因である「揺れ」から建物種類(木造・非木造)及び建築年次などを考慮して建物想定被害(建物の全壊)の割合を50mメッシュでランク分けしたものです。



もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害

想定地震と断層の位置



東京湾北部地震

○マグニチュード7.3

○富士見市における最大震度6強

○今後30年以内に発生する確率70%

東京湾北部地震は今後30年以内に南関東地域でマグニチュード7級の地震が発生する確率が70%とされています。

最大震度7の地域が出るとともに、震度6強の地域が広範囲に及ぶ可能性があります。

富士見市においても、平成24・25年度に行った「埼玉県地震被害想定調査」によると、最大震度6強の地震が発生し、最大避難者1,915人、帰宅困難者3,981人と予測されています。



地震ハザードマップ

揺れやすさ マップ

■揺れやすさとは？

東京湾北部地震による「揺れ」の大きさを250mメッシュで震度階級にて表したものです。市内では震度5強～震度6強が想定されていますが、震源や地震の規模で揺れの程度も変わりますので注意してください。



震度と揺れ等の状況 (概要)



【震度0】
人は揺れを感じない。



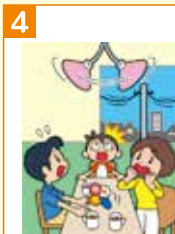
【震度2】
屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。



【震度1】
屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。



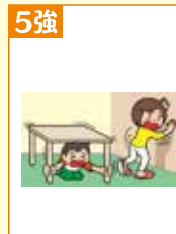
【震度3】
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。



【震度4】
●ほとんどの人が驚く。
●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
●座りの悪い置物が、倒れることがある。



【震度5弱】
●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらなさと感じる。
●棚にある食器類や本が落ちることがある。
●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



【震度5強】
●物につかまらなさと歩くことが難しい。
●棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
●固定していない家具が倒れることがある。
●補強されていないブロック塀が崩れることがある。



【震度6弱】
●立っていることが困難になる。
●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
●ドアが開かなくなることもある。
●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

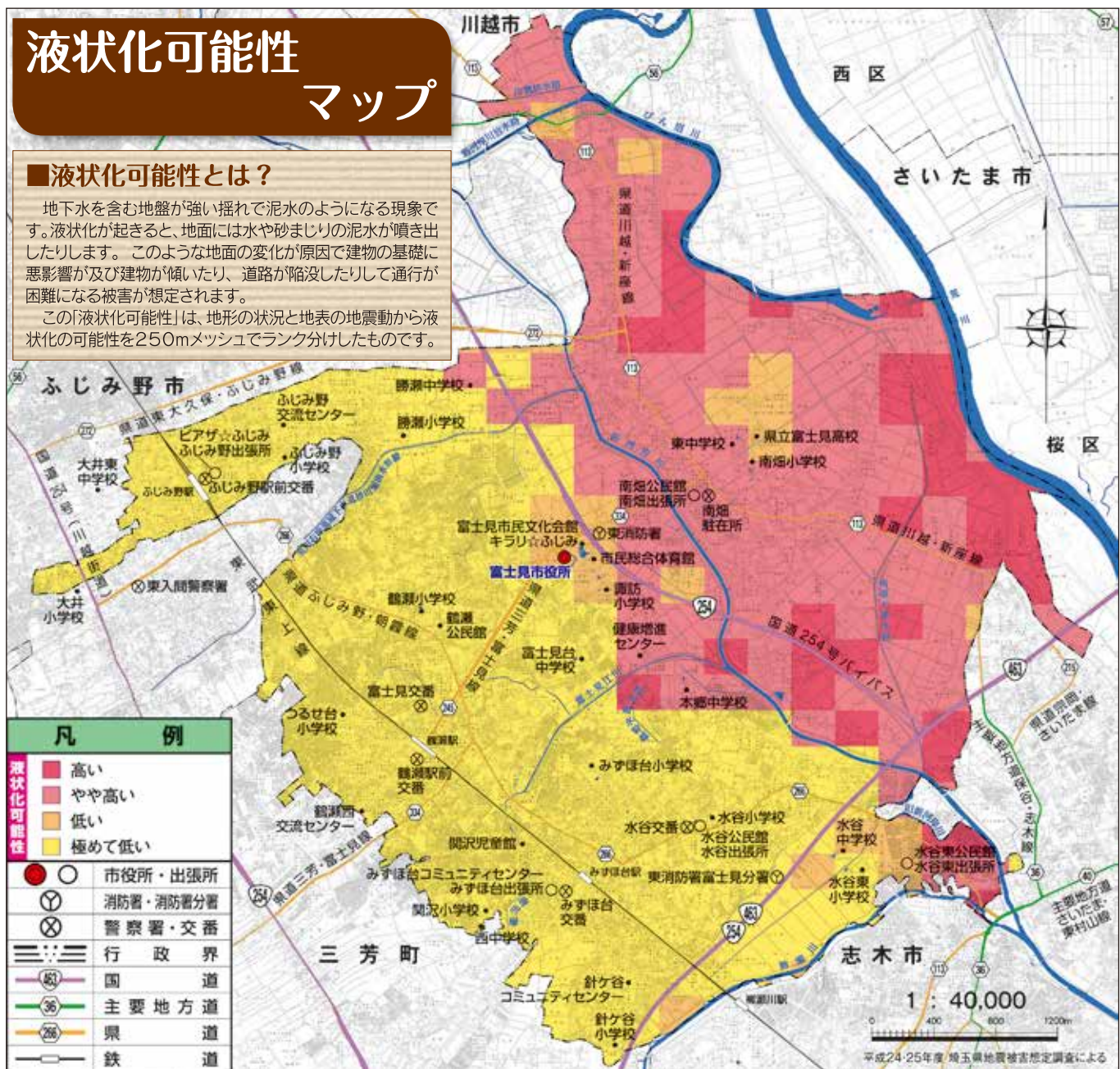


液状化可能性 マップ

■液状化可能性とは？

地下水を含む地盤が強い揺れで泥水のような現象です。液状化が起きますと、地面には水や砂まじりの泥水が噴き出したりします。このような地面の変化が原因で建物の基礎に悪影響が及び建物が傾いたり、道路が陥没したりして通行が困難になる被害が想定されます。

この「液状化可能性」は、地形の状況と地表の地震動から液状化の可能性を250mメッシュでランク分けしたものです。



もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害

6強



耐震性が高い

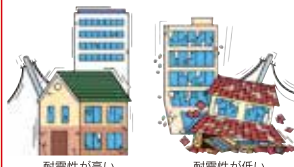


耐震性が低い

【震度6強】

- はわなと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

7



耐震性が高い



耐震性が低い

【震度7】

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

「もしもの準備」

防災対策用の井戸

富士見市は市内の各小中学校と、災害時に水を提供していただける方の井戸を災害時飲料用井戸や生活用水等の井戸として指定しています。

これらの井戸は、市が定期的に検査を行っており、災害時に使用できる井戸であることを示す看板を設置しています。





水害から身を守る

大雨による浸水の危険があるときは、自ら情報を入手し速やかに避難をしましょう。普段から安全な避難経路を確認しておき、避難時は助け合い、落ち着いて行動しましょう。また河川の近くやアンダーパス、地下空間の入室などは避けましょう。

洪水のおそれがあるときの避難行動

危険な場所に近づかない

河川などの様子を見に行くなどの行動は控えましょう。またアンダーパスや周囲より窪んでいる場所などは冠水の恐れがあります。局地的な豪雨により都市型水害が起こる可能性もあります。危険な箇所を避ける避難経路を日頃から確認しておきましょう。



情報収集と自主避難

テレビ・ラジオ・インターネットなどで気象、災害、避難に関する情報を入手しましょう。

洪水の危険が迫ったときは、市や消防団からの避難の呼びかけがあります。

また、指示がなくても危険を感じた場合は自主避難を心がけましょう。



あわてずに避難

動きやすい服装で運動靴を履いて避難するようにしましょう。避難先を確認し知人などに避難の旨を連絡しておきましょう。



協力しあって避難

単独での避難はできるだけ避け、避難が困難な方をご近所の方などと助け合って避難しましょう。また車での避難は、冠水で動かなくなったり、緊急車両の妨げになることがあるため避けましょう。



避難時の注意点

浸水の深さが高くなる前に早めに避難をするようにしましょう。外れたマンホールや側溝などの危険があるので、棒を杖代わりにするなど、安全に注意して避難しましょう。



避難が困難なとき

歩ける水の深さはひざ下程度までと言われており、それ以上浸水したときの避難はかえって危険です。やむを得ず避難所などへの避難ができない場合は、近くの頑丈な建物の上層階への避難、それも困難なときは家の中でできるだけ安全で高い場所に避難しましょう。



地下空間(地下室、地下街、地下駐車場など)の危険性

屋外の様子がわかりません

地下室などでは外の様子がわからないので、気象情報等に注意が必要です。また、屋外の天候に変化があったときは地下室内の人にも知らせましょう。



階段は上れません

地上が冠水すると、換気口や採光窓など、思わぬところから水が入ってくることがあります。また、流れ落ちる水の勢いで階段は上れないおそれがあります。



停電するおそれがあります

浸水すると停電するおそれがあります。

停電すると電灯が消え地下空間が真っ暗になったり、エレベーターが使えなくなったりします。



ドアが開きません

地上から流れ込む水の圧力で、ドアを開けることができなくなります。

30cmの浸水で成人男性でもドアを開けるのが困難になります。早めの避難が必要です。





気象情報などの入手

気象台からの気象情報は、市町村ごとに発表しています。万一来る前に、市民のみなさんも日頃からテレビ、ラジオなどで気象情報を確認するように心がけましょう。

雨の降り方と雨量

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。

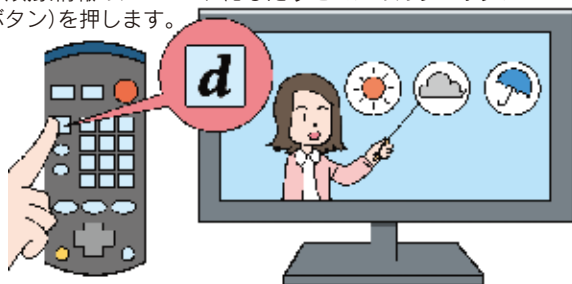
	やや強い雨 10～20mm	強い雨 20～30mm	激しい雨 30～50mm	非常に激しい雨 50～80mm	猛烈な雨 80mm以上
予報用語 1時間雨量 (mm)					
人の受ける イメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内 (木造住宅の場合)	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗って いて	ほとんど影響なし	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

最新の注意報・警報を入手

「いつもより強い雨だ」と感じたら、注意報や警報が発表されているのか確認し、今後の予報等に注意しましょう。

【テレビで入手】

リモコンの「dボタン」を押すとデータ放送画面が表示されます。次に、気象情報のメニューに応じたリモコンのカラーボタン（4色ボタン）を押します。



【インターネット・メールで入手】

気象庁

台風・大雨・土砂災害・竜巻に関する情報 [全般](#)

<https://www.jma.go.jp/>

台風情報 [台風](#)

レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻） [ゲリラ豪雨](#) [台風](#) [竜巻](#)

高解像度降水ナウキャスト [雨量状況](#)

土砂災害警戒判定メッシュ判定情報 [土砂災害](#)

埼玉県 水防情報システム（川の防災情報）

雨量や河川の水位などの情報 [ゲリラ豪雨](#) [台風](#)

<https://suibo-river.pref.saitama.lg.jp>

国土交通省 川の防災情報（※Google chrome, Microsoft Edge, Safariのブラウザで閲覧できます）

全国の河川の雨量や水位などの情報 [河川水位](#) [雨量](#)

<https://www.river.go.jp/>

【スマートフォンで入手】

Yahoo! 防災速報

スマートフォンアプリをインストールしておくことで、気象情報や地震情報などが確認・通知されます。

住んでいる市町村を登録することで、その市町村での大雨情報や避難情報、地震情報等の防災情報が通知されます。

また、避難所開設情報など、富士見市独自の情報も通知されます。



Yahoo! 天気・災害

気象庁から発表される気象・災害情報などが確認できます。また河川水位情報も確認できます。



国土交通省 荒川上流河川事務所

川の状況のリアルタイム情報 [ライブカメラ](#) [河川水位](#) [雨量](#)

<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/>

埼玉県 川の防災情報メール

事前登録により、県内河川の避難情報などを配信

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1007/kawanobousaime-ru.html>

停電情報（東京電力パワーグリッド）

停電発生状況などがわかります。

<https://teideninfo.tepcoco.jp/>

砂川堀雨水幹線水位監視システム [監視カメラ](#)

砂川堀雨水幹線の水位状況を監視カメラの画像でリアルタイムに確認することが可能 <https://www.pref.saitama.lg.jp/d1502/suna/sunagawabori.html>

富士見市内河川のカメラ画像及び水位状況 [監視カメラ](#) [河川水位](#)

https://www.city.fujimi.saitama.jp/anzen_anshin/08bousai/saigai_kisho/anshin_suij_R020923.html



もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害

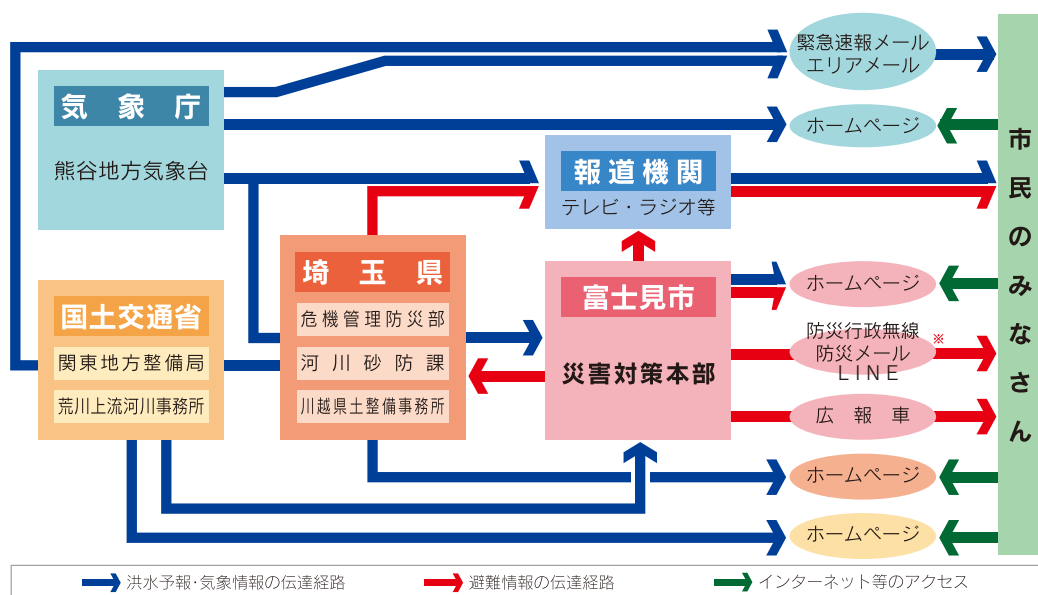


避難情報の入手

台風や集中豪雨などに対しては事前に情報を収集し、対策をとっておくことが重要です。情報をしっかり入手し、いざというときの確かな行動がとれるようにしましょう。気象、河川に係わる警報が発令されたときには、各報道機関の流す情報を積極的に収集しましょう。

インターネット、ラジオ、テレビなどで、リアルタイムに正確な情報を入手することができます。避難情報が発令されたときは、その指示に従い安全な場所に避難してください。

洪水予報・避難情報の伝達経路



※防災行政無線電話応答サービス
TEL.049-265-3030

洪水情報の発表基準

河川に設置している基準水位観測所が観測する水位をもとに、国や県、気象庁から洪水注意報・警報が発表され、富士見市からは避難情報が出されます。

■富士見市周辺の河川と基準水位観測所



河川水位	荒川 治水橋 水位 観測所	入間川 菅間 水位 観測所	新河岸川 宮戸橋 水位 観測所	柳瀬川 清柳橋 水位 観測所
氾濫危険水位 洪水警報／避難指示	13.30m	12.00m	7.48m	20.87m
避難判断水位 洪水警報／高齢者等避難	12.80m	11.50m	7.12m	20.53m
氾濫注意水位 洪水注意報	7.50m	8.00m	6.00m	19.65m
水防団待機水位	7.00m	7.00m	4.50m	19.15m



避難情報と求められる行動

荒川、入間川、新河岸川の洪水予報河川では、洪水予報を行っており、国土交通省と気象庁が共同で「氾濫注意情報」「氾濫警戒情報」「氾濫危険情報」「氾濫発生情報」の4つの情報を発表しています。これらを一つの目安として市から高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保が発表されますので指示に従って行動をとるようにしましょう。

避難情報の種類

富士見市は様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行いますが、必ずしも気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。

自らの命は自ら守る意識を持って、気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。

気象情報とは

台風や大雨に関する情報です。気象庁から発表されます。テレビやホームページなどから新しい情報を入手するようにしましょう。

指定河川洪水情報とは

水位の情報です。避難行動や水防活動の判断目安になります。

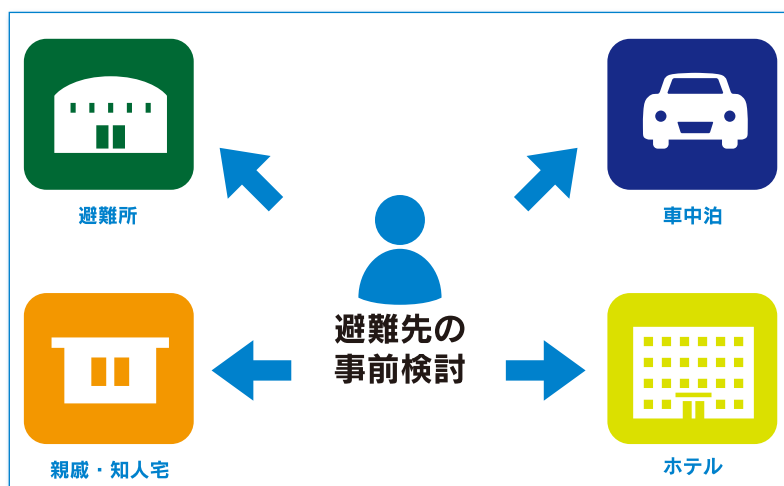
避難情報とは

避難の準備や開始のタイミングの目安となる情報です。気象状況や河川の水位等を総合的に判断し、富士見市が発令します市のホームページやテレビのデータ放送、防災行政無線、防災メール等で確認しましょう。

警戒レベル	状況	気象情報等	指定河川洪水情報	避難情報等	とるべき行動
5	災害発生 又は切迫	大雨特別警報	氾濫発生情報	緊急安全確保	●すでに災害が発生しています。 いのちを守るための最善の行動をとしましょう。
~~~~~ 〈警戒レベル4までに避難！〉 ~~~~~					
<b>4</b>	災害の おそれ高い	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	避難指示	●冠水など、避難が困難になっているおそれがあります。 ●危険な場所から避難。 ●浸水想定区域外の、少しでも安全な場所へ避難してください。
<b>3</b>	災害の おそれあり	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	高齢者等避難	●危険な場所から高齢者等は避難を。 ●高齢者等以外の人も危険を感じたら、自主的に避難してください。
<b>2</b>	気象状況悪化	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報		●ハザードマップ等で避難場所や危険な区域を再確認しましょう。
<b>1</b>	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報			●災害への心構えを高めます。

## 早めの避難

水害時における適切な避難行動や避難のタイミングは、一人ひとりのおかれた状況により異なります。市からの避難情報を参考にしたり、状況によっては自主避難をしましょう。避難所などで人が密集すると感染症の心配もあります。感染症が拡大しているときは、避難所への避難以外に「親戚・知人宅」「ホテル」「車中泊」など地域の人たちが分散して避難することが大切です。また、すでに災害が発生している場合など屋外への避難が危険な場合は、自宅の上層階へ垂直避難するなど命を守る行動をとってください。今からできる備えを考えておきましょう。



もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害



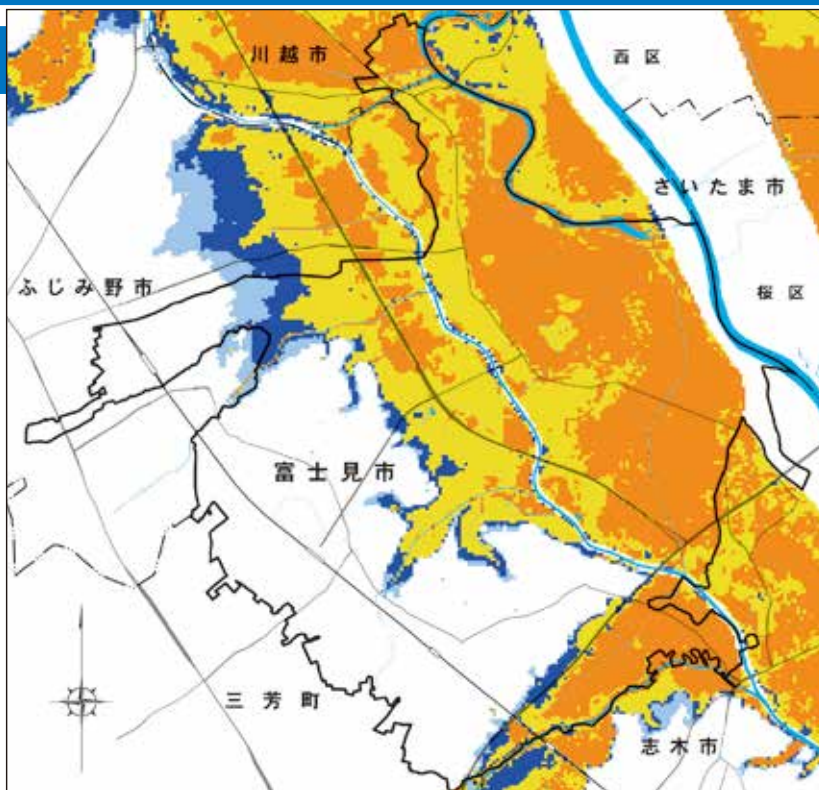
# 浸水シミュレーション

## 浸水継続時間

この図は荒川・入間川の洪水浸水想定区域図と新河岸川流域洪水浸水想定区域図・水害リスク情報図の浸水継続時間のシミュレーション（浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間の最大値を図化したもの）を重ね合わせた最大値を表したものです。

### 浸水継続時間

- ～12時間
- 12～24時間(1日)
- 24～72時間(3日)
- 72～168時間(1週間)



## 浸水シミュレーション

● 河口から38.8kmの場所が破堤した場合（富士見市に氾濫水が一番早く到達し、影響が最も大きい想定破堤点です）

荒川



富士見市に影響がはじめる破堤後の時間



富士見市に最も被害の影響が大きいとみられる時間



富士見市からおおむね浸水の影響がなくなる時間

● 河口から19.8kmの場所が破堤した場合（富士見市に氾濫水の影響がある想定破堤点で最も遠い場所です（遠い場所でも富士見市に影響があります））

新河岸川



富士見市に影響がはじめる破堤後の時間



富士見市に最も被害の影響が大きいとみられる時間



富士見市からおおむね浸水の影響がなくなる時間

● 河口から2.8kmの場所が破堤した場合（富士見市に氾濫水の影響が最も大きい想定破堤点です）

柳瀬川



富士見市に影響がはじめる破堤後の時間



富士見市に最も被害の影響が大きいとみられる時間



富士見市からおおむね浸水の影響がなくなる時間

### 凡 例

富士見市



破堤点

浸水深

0.5m未満

0.5m～3.0m未満

3.0m～5.0m未満

5.0m～10.0m未満

10.0m～20.0m未満

その他の拠点浸水シミュレーションは

地点別浸水シミュレーション検索システム (<https://suiboumap.gsi.go.jp/>) でご確認ください。





# マイ・タイムライン

## マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインとは、大雨や台風などにより、水害の危険性が高まった際に時間経過に応じてどのような行動をとるべきかを事前に決めておく、一人ひとりの防災行動計画のことです。

いざというときに慌てないように作成しておきましょう。

## マイ・タイムライン記入例

下の記入例を参考にして、各家庭のマイ・タイムラインを作成しましょう。記入シートは裏表紙にあります。

富士見 家の マイ・タイムライン		家族構成				名前		年齢		関係		周囲の状況	
		父	富士見 太郎	45	母	富士見 花子	43	子	富士見 一郎	13			
		祖父	富士見 清	80	祖母	富士見 和子	70						
		自宅前の道路が冠水する。 高台に叔母が住んでいる。											

経 時 過 間	3日前 (台風発生)	2日前	1日前	雨・風が時間とともに強くなる		0時間前
行政からの連絡	台風予報 警戒レベル 1相当	大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル 2相当	大雨警報 洪水警報	警戒レベル 3 発令	警戒レベル 4 発令	警戒レベル 5 発令
マイ・タイムライン	<b>事前にしておくことリスト</b>      ●持出品の準備     ●ハザードマップで避難経路を確認     ●常備薬を確認     ●叔母の家へ避難する可能性があることを連絡     ●ペット避難に必要なものを準備       事前にできることを記入しましょう			<b>避難するタイミングを記入しよう</b>  ▶祖父と祖母は叔母の家に避難開始   【目安】       ●高齢者など避難に時間がかかる家族がいる場合は警戒レベル3から避難開始     ●避難所まで距離がある時間がかかる場合も警戒レベル3から避難開始		<b>避難先を記入しておこう</b> (複数の場所を想定しておこう)      ●父、母、子も避難     ●家族全員叔母の家に避難完了       ※叔母の家も危険な場合 ○○小学校へ避難   【目安】   警戒レベル4で危険な場所から全員避難
ポイント	<b>持出品の例</b>      <input type="checkbox"/>非常用持出袋 <input type="checkbox"/>常薬     <input type="checkbox"/>現金(小銭) <input type="checkbox"/>印鑑     <input type="checkbox"/>ヘルメット <input type="checkbox"/>マスク     <input type="checkbox"/>レインコート <input type="checkbox"/>消毒液     <input type="checkbox"/>モバイルバッテリー <input type="checkbox"/>体温計     <input type="checkbox"/>健康保険証 <input type="checkbox"/>非常食     <input type="checkbox"/>通帳 <input type="checkbox"/>かんばん     <input type="checkbox"/>カード <input type="checkbox"/>飲料水			<b>事前の確認</b>      ●自宅が浸水する深さ最大( 3.0 )m ●河川との距離( 3000 )m     ●最寄りの避難所(○○小学校)までの距離( 1,000 )mと時間( 20 )分     ●ペット避難に必要な持出品(ケージ、ペットフード、トイレ用品、リード)		<b>【我が家の避難スイッチ】</b> 警戒レベル( 3 )で (叔母の家へ避難)する  【目安】   警戒レベル3が発令されない場合もあるので、自分の家が危険だと感じたときに速やかに避難行動をとりましょう。

### 事前の確認

- 自宅のある場所にはどのような災害リスクがあるのかを確認する。
- 洪水ハザードマップを確認し、自宅が浸水するか、深さはどれくらいか確認する。
- 複数の避難場所と避難経路を確認しておく。

### 外へ出るのが危険な時は

夜間や激しい降雨で屋外への避難が危険な時は、自宅内のより安全な場所で身の安全を確保してください。

### 情報入手

情報を入手することが迅速な避難行動につながります。防災行政無線や防災メール、SNSなど複数の情報入手の手段を持っておいてください。

### 早めに避難

市から警戒レベル3または4が発令されたら速やかに避難行動をとってください。それ以前でも自分のいる場所が危険だと感じた時には避難行動を開始してください。

### 警戒レベル

4で全員避難!!



警戒レベル5(市町村が発令)はすでに災害が発生している状況です

もしもの備え

地震

洪水・内水

土砂災害



# 洪水・内水ハザードマップ

## 荒川・入間川洪水・内水(市北部)ハザードマップ

### 荒川・入間川について想定した氾濫の条件及び内水について

荒川・入間川の浸水は、流域に大雨が降り、荒川・入間川が氾濫した場合に想定されるものです。想定される最大規模の降雨(1000年に1度程度)は、荒川流域の「72時間の総雨量が632mm」、入間川流域の「72時間の総雨量が740mm」です。

このマップの浸水の範囲及び浸水深は、堤防が決壊した場合の予測結果に基づき、荒川と入間川それぞれの想定される破堤点の全てによる浸水想定区域及び浸水深を重ね合わせた最大状況の想定したものです。

また内水については、令和元年10月の台風19号に確認した浸水情報(田畑を除く)に基づき表示したものです。道路通行止め区域については、冠水した全ての道路を表示しているのではなく、市で通行止めを実施した道路を表示しています。

凡 例	
浸水	10.0~20.0m未満
水深	5.0~10.0m未満
区分	3.0~5.0m未満
	0.5~3.0m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫河川)
	浸水(内水)区域
	道路通行止め区域
	アンダーパス(地下道等水没危険箇所)
	橋
	避難方向
	市役所・出張所
	消防署・消防署分署
	警察署・交番
	行政界
	国 道
	主 要 地 方 道
	県 道
	鉄 道

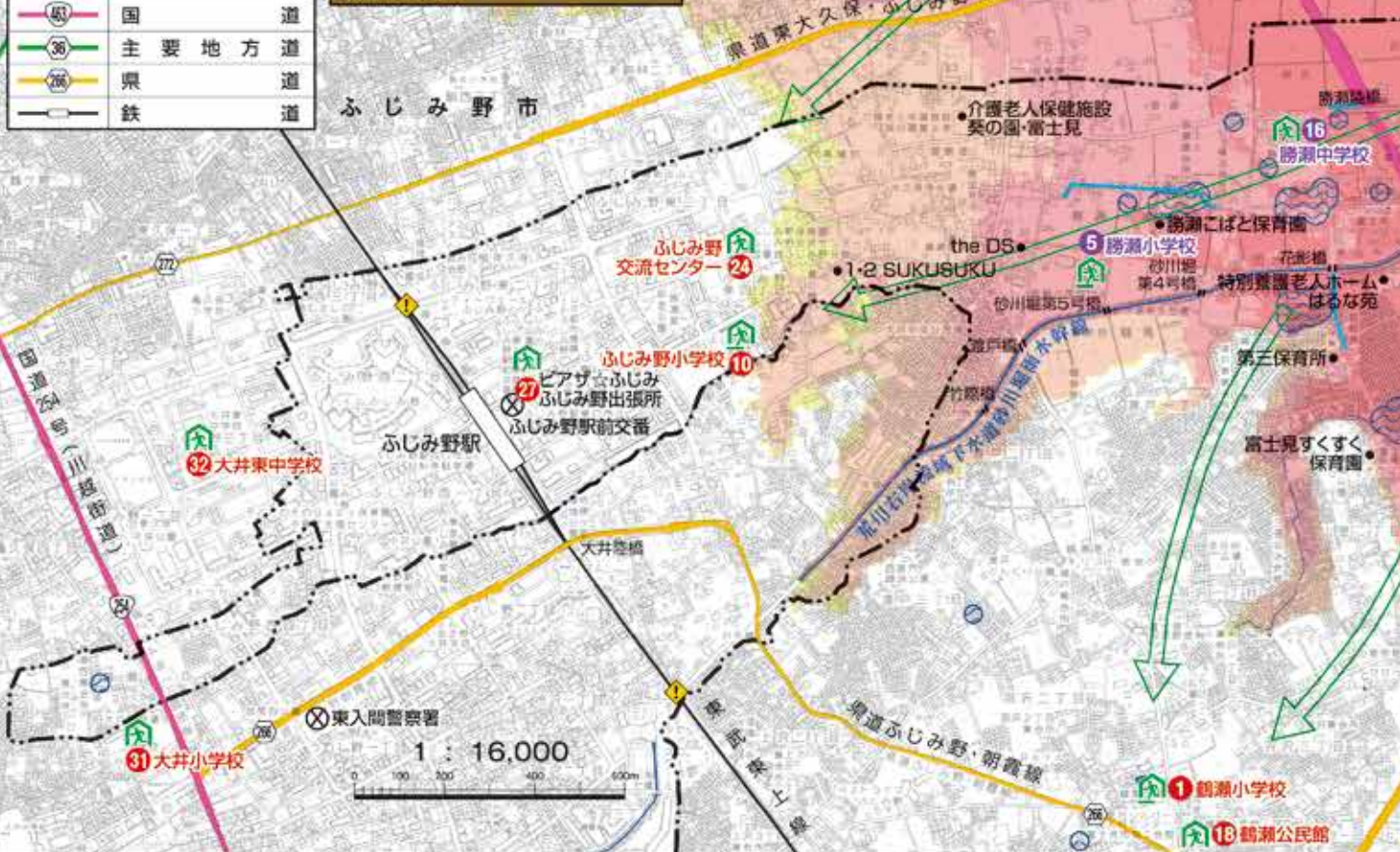
避難所区分	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定避難所
③、⑤...	浸水の状況により使用できない場合が想定される避難所

浸水深の色の見方	
▼水深の目安(浸水深)	
10.0~20.0m未満の区域(10.0m)	
5.0~10.0m未満の区域(5.0m)	
3.0~5.0m未満の区域(3.0m)	
0.5~3.0m未満の区域(0.5m)	
0.5m未満の区域	

**高層階にお住まいの方は...**

マンションなどの高層階にお住まいの方は、指定避難所へ行かなくても安全と考えられます。但し、状況に応じて指定避難所へ避難してください。

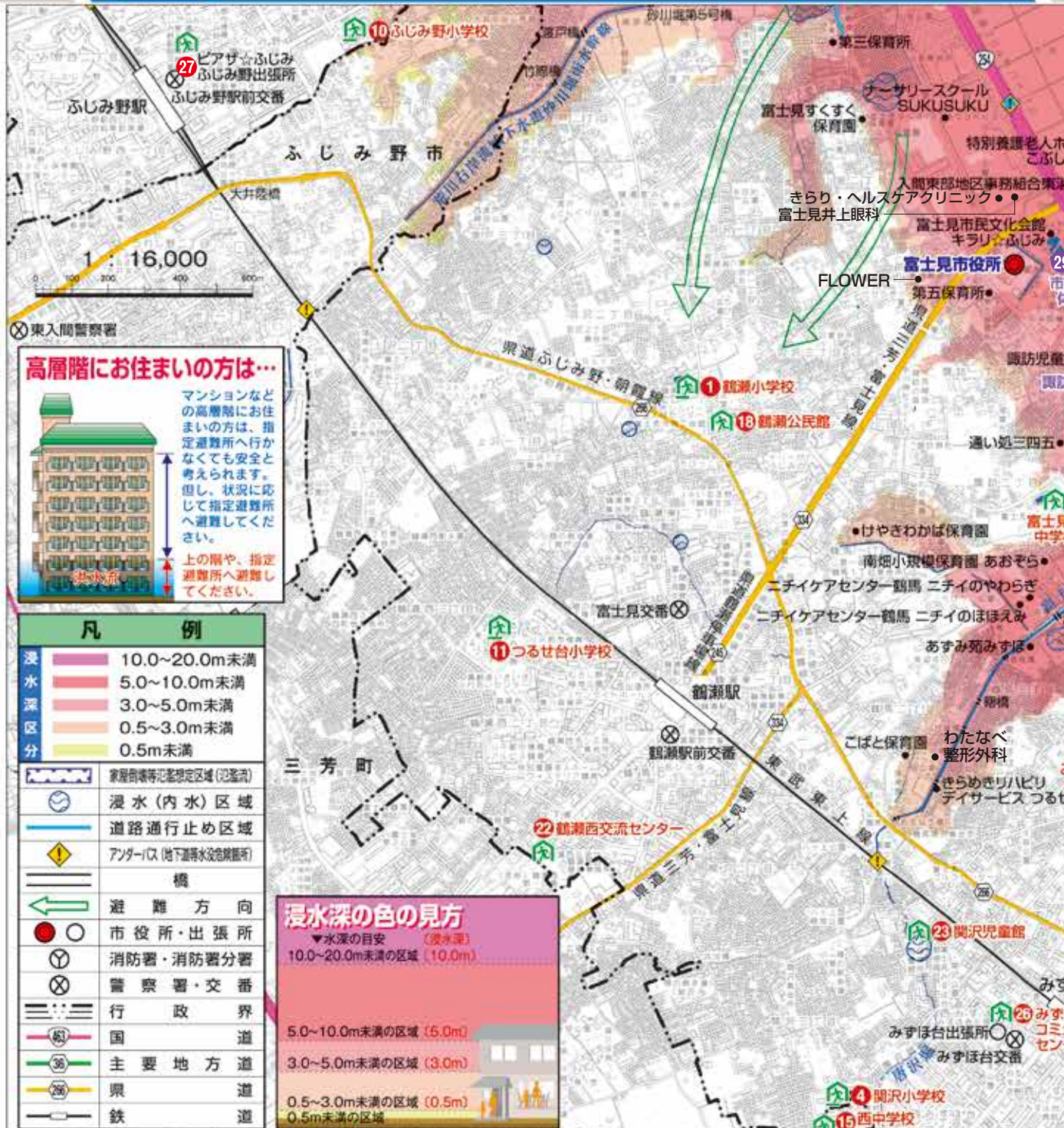
上の階や、指定避難所へ避難してください。







# 洪水・内水ハザードマップ



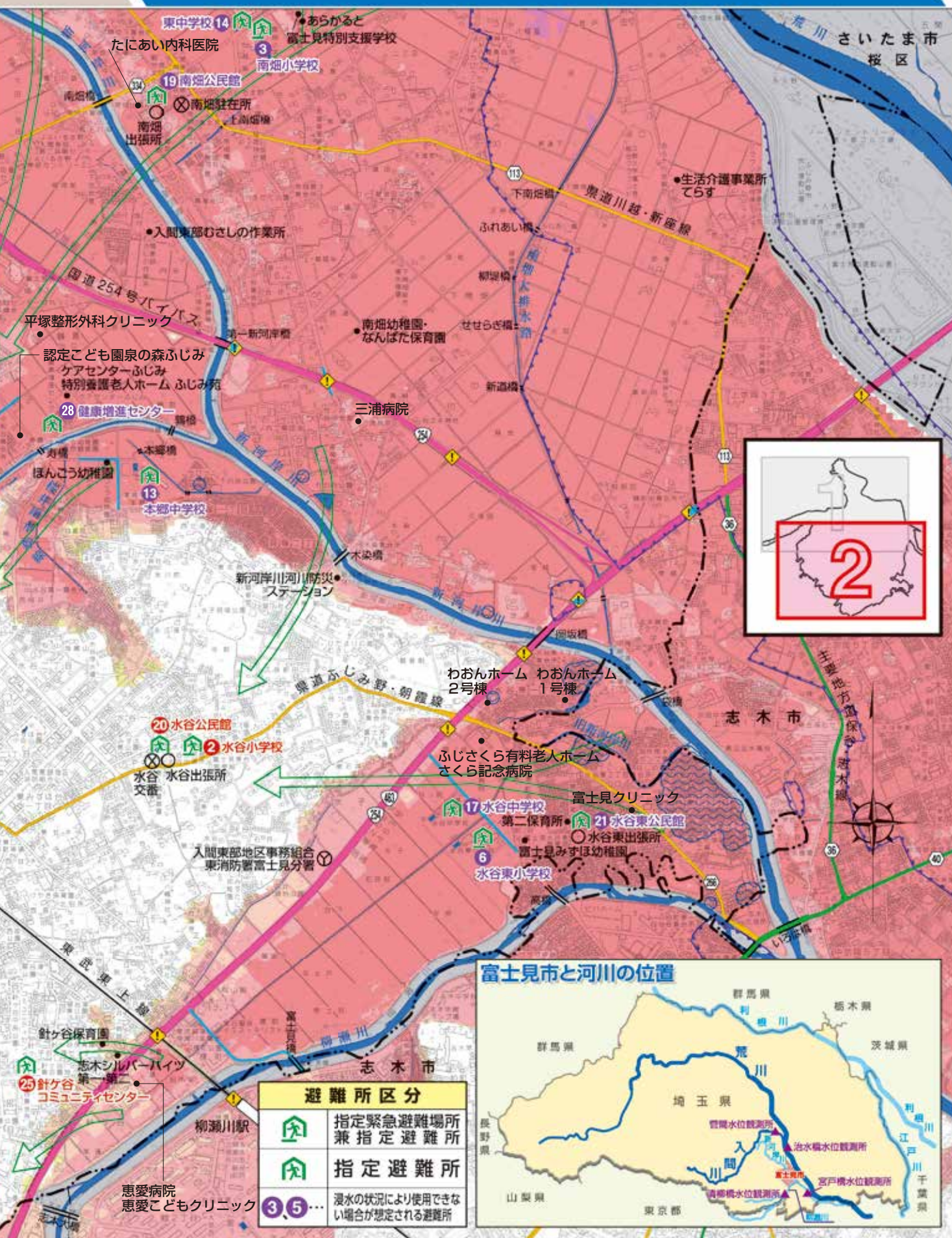
## 荒川・入間川洪水・内水(市南部)ハザードマップ

### 荒川・入間川について想定した氾濫の条件及び内水について

荒川・入間川の浸水は、流域に大雨が降り、荒川・入間川が氾濫した場合に想定されるものです。想定される最大規模の降雨(1000年に1度程度)は、荒川流域の[72時間の総雨量が632mm]、入間川流域の[72時間の総雨量が740mm]です。

このマップの浸水の範囲及び浸水深は、堤防が決壊した場合の予測結果に基づき、荒川と入間川それぞれの想定される破堤点の全てによる浸水想定区域及び浸水深を重ね合わせた最大の状況を想定したものです。

また内水については、令和元年10月の台風19号に確認した浸水情報(田畑を除く)に基づき表示したものです。道路通行止め区域については、冠水した全ての道路を表示しているのではなく、市で通行止めを実施した道路を表示しています。





# 洪水・内水ハザードマップ

## 新河岸川流域(柳瀬川含む)洪水・内水(市北部)ハザードマップ

### 新河岸川・柳瀬川について想定した氾濫の条件及び内水について

新河岸川・柳瀬川の洪水は、流域に大雨が降り、新河岸川・柳瀬川が氾濫した場合に想定されるものです。想定される最大規模の降雨(1000年に1度程度)は、新河岸川流域の「2日間の総雨量が746mm」です。

このマップの洪水の範囲及び浸水深は、堤防が決壊した場合の予測結果に基づき、新河岸川流域(柳瀬川を含む)に想定される破堤点の全てによる洪水想定区域及び浸水深を重ね合わせた最大の状況を想定したものです。

また内水については、令和元年10月の台風19号に確認した浸水情報(田畑を除く)に基づき表示したものです。道路通行止め区域については、冠水した全ての道路を表示しているのではなく、市で通行止めを実施した道路を表示しています。

凡 例	
浸水深区分	5.0~10.0m未満 3.0~5.0m未満 0.5~3.0m未満 0.5m未満
	家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫)
	家屋倒壊等氾濫想定区域(沿岸浸食)
	浸水(内水)区域
	道路通行止め区域
	アンダーパス(地下道等水没危険箇所)
	橋
	避難方向
	市役所・出張所
	消防署・消防署分署
	警察署・交番
	行政界
	国 道
	主 要 地 方 道
	県 道
	鉄 道

避難所区分	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定避難所
③⑤...	洪水の状況により使用できない場合が想定される避難所

**浸水深の色の見方**

▼水深の目安 (浸水深)

5.0~10.0m未満の区域 (5.0m)

3.0~5.0m未満の区域 (3.0m)

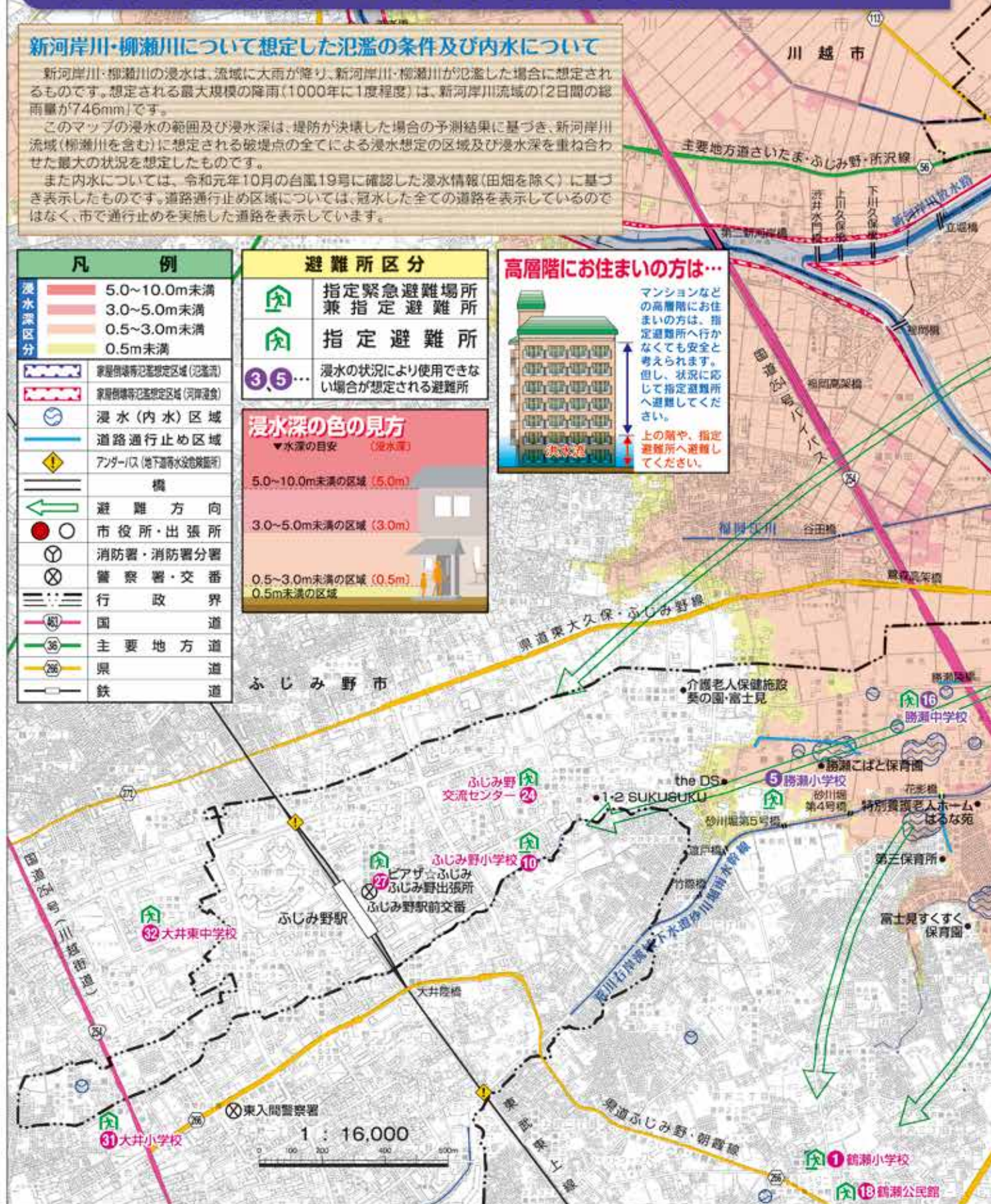
0.5~3.0m未満の区域 (0.5m)

0.5m未満の区域

**高層階にお住まいの方は...**

マンションなどの高層階にお住まいの方は、指定避難所へ行かなくても安全と考えられます。但し、状況に応じて指定避難所へ避難してください。

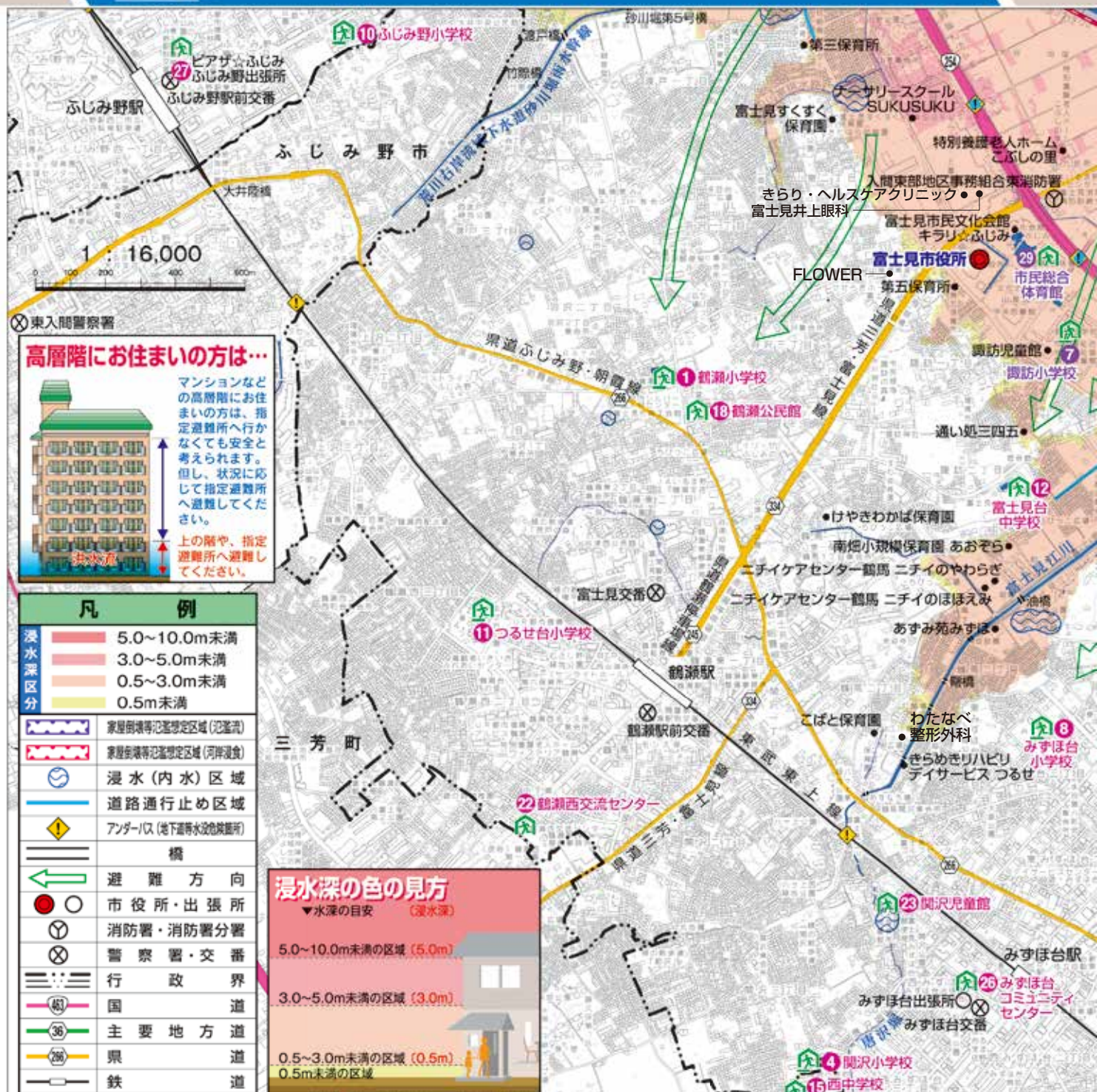
上の階や、指定避難所へ避難してください。







# 洪水・内水ハザードマップ



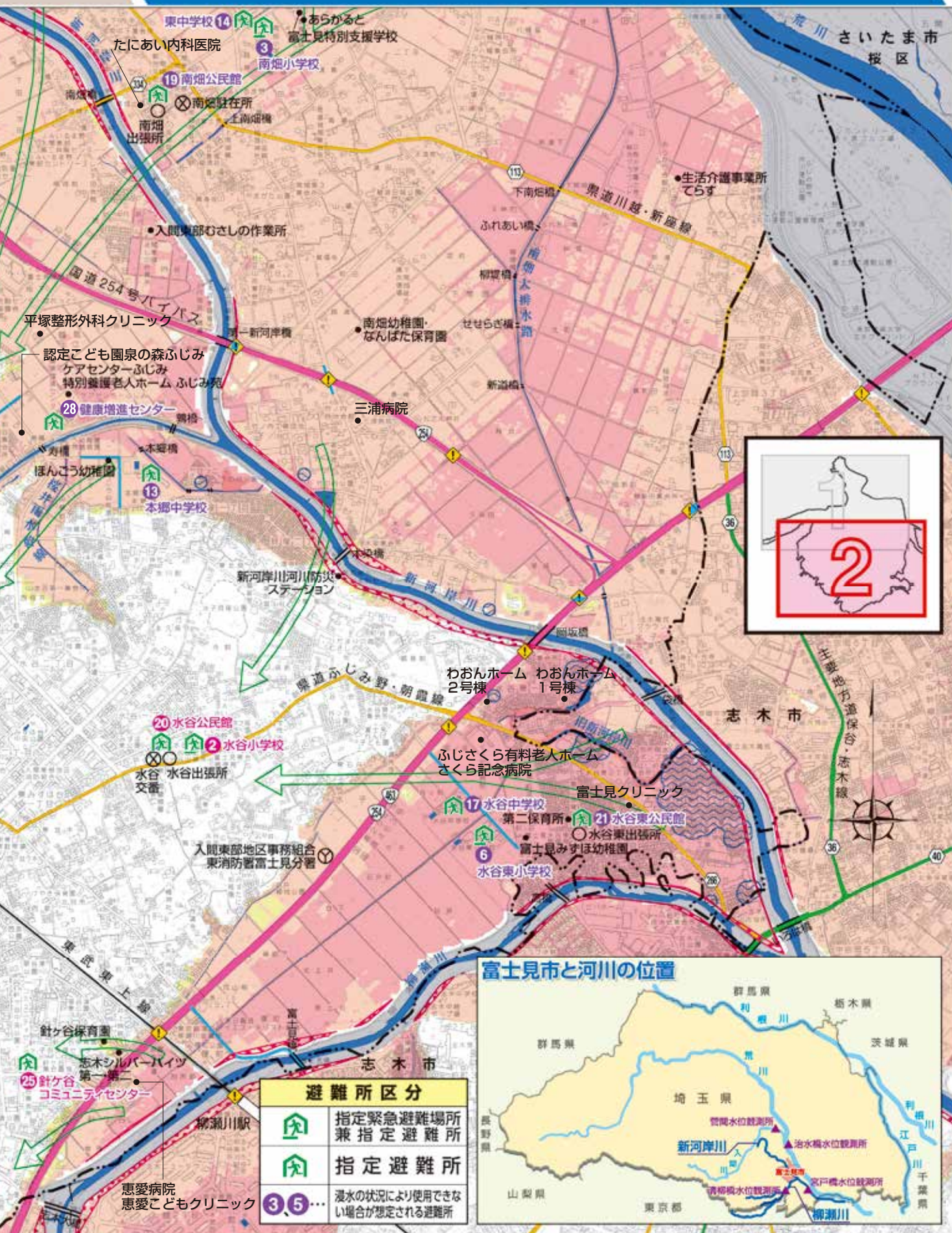
## 新河岸川流域(柳瀬川含む)洪水・内水(市南部)ハザードマップ

### 新河岸川・柳瀬川について想定した氾濫の条件及び内水について

新河岸川・柳瀬川の浸水は、流域に大雨が降り、新河岸川・柳瀬川が氾濫した場合に想定されるものです。想定される最大規模の降雨(1000年に1度程度)は、新河岸川流域の「2日間の総雨量が746mm」です。

このマップの浸水の範囲及び浸水深は、堤防が決壊した場合の予測結果に基づき、新河岸川流域(柳瀬川を含む)に想定される浸水点の全てによる浸水想定区域及び浸水深を重ね合わせた最大の状況を想定したものです。

また内水については、令和元年10月の台風19号に確認した浸水情報(田畑を除く)に基づき表示したものです。道路通行止め区域については、冠水した全ての道路を表示しているのではなく、市で通行止めを実施した道路を表示しています。



富士見市と河川の位置





# 土砂災害から身を守る

富士見市で発生するおそれのある土砂災害は、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)です。がけ崩れは大雨によって引き起こされることが多く、総雨量が100mmを超えると発生しやすくなるとされています。

## 土砂災害とは

土砂災害とは、土石流、急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)、地すべりのことをいい、勾配の急な山やがけ、渓流のある地域に発生します。土砂災害のほとんどは、長雨や地震に起因し突然発生します。特に長雨や大雨の場合は、大量の水分が地中にしみ込み、その量が多いほど斜面の土が弱くなり、災害の発生する可能性が高くなります。このため、災害が発生するおそれのある区域をあらかじめ把握し、大雨などの際には気象情報の収集を行い、身の危険を感じたら早めの避難を心がけてください。

### 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

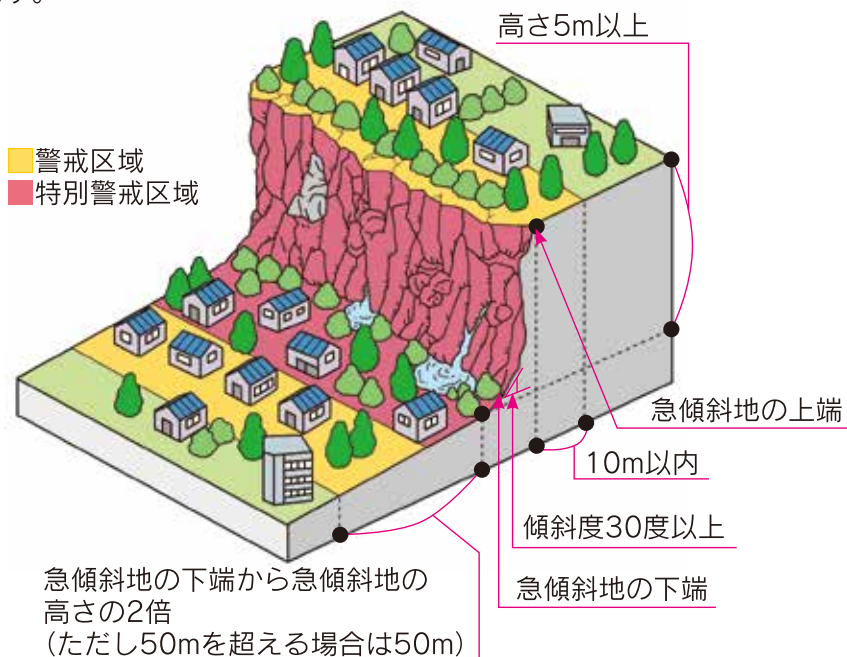
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、**住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれ**があると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

### 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊土石流等が発生した場合に、**建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれ**があると認められる土地の区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

## 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

がけ崩れは、地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。



## 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)の前兆現象

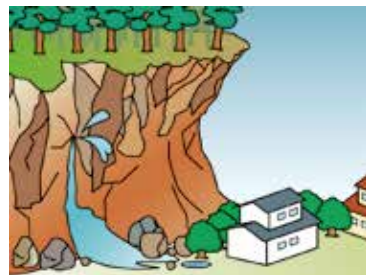
こんなときはただちに避難してください。



- ◆ 斜面に亀裂ができる
- ◆ 斜面にはらみ(ふくらみ)が見られる



- ◆ 斜面から小石がバラバラと落ち出す
- ◆ 斜面から異常な音、山鳴り、地鳴りが聞こえる



- ◆ 普段澄んでいる湧き水が濁ってきた。水の噴き出しが見られる
- ◆ 湧き水の急激な増加や減少、枯渇が認められる

## 避難情報の種類と避難行動

### 避難情報の種類と避難行動

#### 高齢者等避難

- ◆立ち退き避難の検討・準備を始める
- ◆要配慮者は立ち退き避難する

#### 避難指示

- ◆一刻も早く立ち退き避難する
- ◆立ち退き避難が危険な状態で屋内に残っている場合は、屋内安全確保をする

※屋内安全確保…自宅の斜面と反対側の2階等、可能な限り安全な場所への移動（避難行動）です。

※立ち退き避難…避難所への移動、自宅から安全な場所（公共施設、親戚、友人宅等）、近隣の堅牢で高い建物等への移動（避難行動）です。

土砂災害（特に土石流）の場合、屋内安全確保を行っても家屋全体が倒壊、流失、埋没する危険性があるため、早めに立ち退き避難を始めましょう。

### 避難情報の伝達系統

大雨になったら要確認！

市民のみなさんに対し、防災行政無線、広報車、ホームページ、ツイッターなどを通して情報をお知らせします。ご自身におきまして、テレビ、ラジオ等メディアからの情報を積極的に利用してください。



市からの避難情報が発令されていない場合でも、身のまわりに危険を感じたときは、自主的に避難することも大切です。

### 土砂災害に関する図記号

経済産業省は平成28年3月に、自然災害に対する注意喚起や避難誘導の標識に使う図記号を「災害避難誘導標識システム」として、日本工業規格（JIS）で定めました。



避難場所図記号と合わせて使用する崖崩れ・地滑りの図記号



崖崩れ・地滑りの発生する危険のある地域を表示する図記号

## 避難の心得

### 雨が強く降り出したら

#### 【天気予報や気象情報に気をつけましょう】

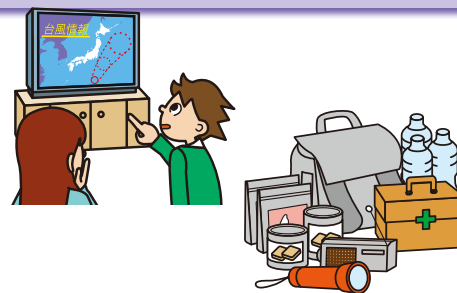
梅雨や台風シーズンには、テレビやインターネットなどの天気予報や気象情報に注意しましょう。

#### 【山や川の様子に注意しましょう】

土砂災害が起こる前には、山や川の様子が普段と異なります。ただし、山や川に近づくのは危険なので、安全な場所から変化がないかを確認しましょう。

#### 【いつでも避難できる準備をしておきましょう】

玄関や寝室など持ち出しやすい場所に、非常用持出品を用意しておきましょう。



### 土砂災害の危険性が高まったら

#### 【避難指示が発令された場合は迅速に避難しましょう】

避難が必要となった地域のみなさんは、迅速で的確な避難行動をとってください。また、隣近所への声かけなど市が行う避難誘導などに協力しましょう。

#### 【避難時には安全な服装・履物を身につけましょう】

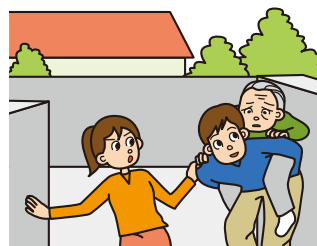
長靴は中に水が入ると歩行困難になるので、ひもで締められる運動靴を着用しましょう。強風であおられ転倒する可能性もありますので、傘はささずレインコートを着用しましょう。

#### 【浸水した中での歩行には注意しましょう】

浸水箇所を通過する場合は、長い棒を杖代わりにして、ふたが外れたマンホールや側溝に注意しながら歩きましょう。また、大人が歩くことができる浸水深の目安の50cmより深い場合や、浸水深が浅くても流れが速い場合は非常に危険です。

#### 【隣近所へも目を向けましょう】

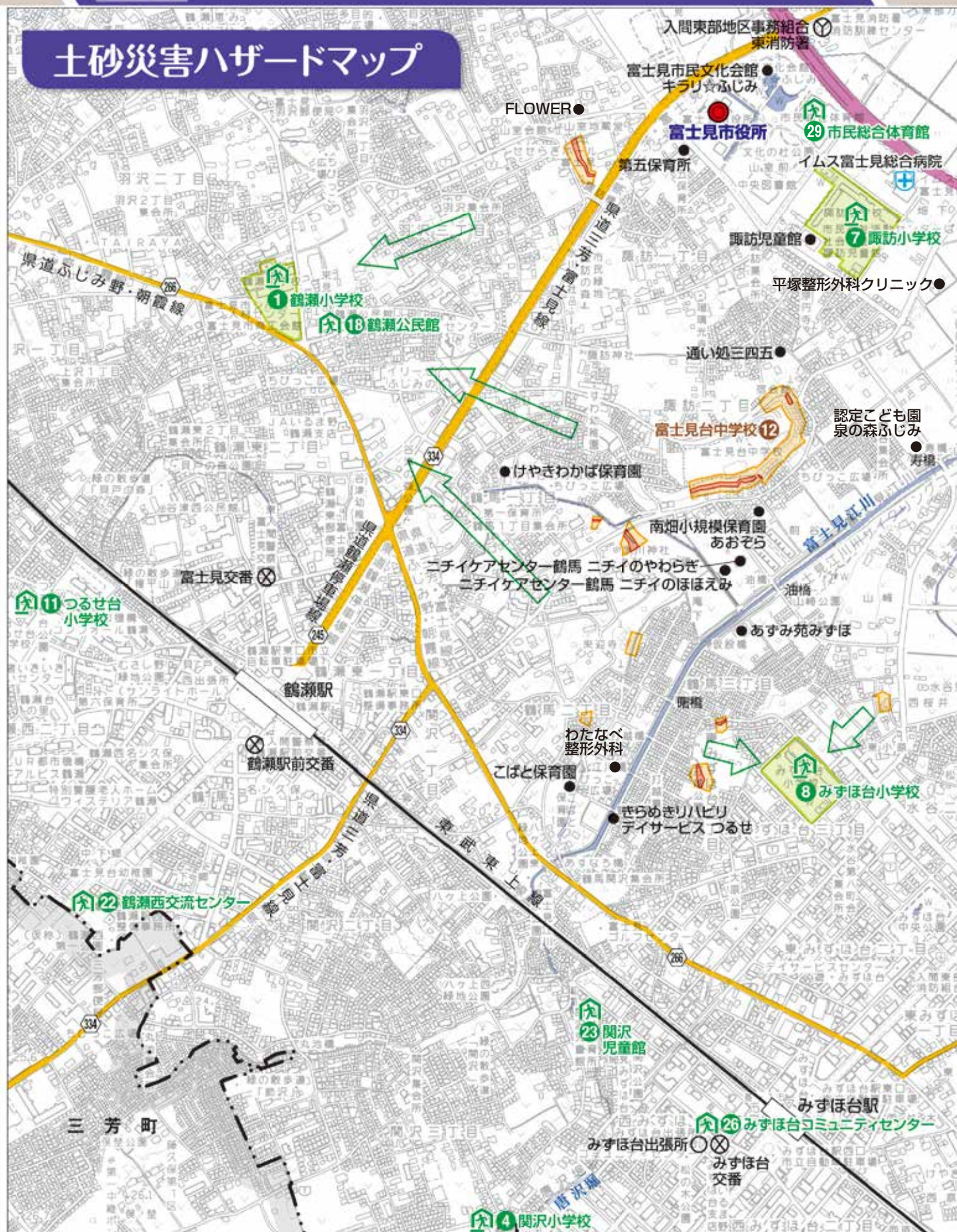
お年寄り、子ども、障がいをお持ちの方、病気の方などは避難に時間を要するため、早めの避難が必要です。災害が発生するおそれのあるときには、地域のみなさんが協力し合って安全に避難しましょう。





# 土砂災害ハザードマップ

## 土砂災害ハザードマップ





# マイ・タイムライン記入シート

家の マイタイムライン		家族構成		名前		年齢		周囲の状況	
3日前 (台風発生)		2日前		1日前		雨・風が時間とともに強くなる		0時間前	
行政からの連絡 台風予報 警戒レベル 1相当		大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル 2相当		大雨警報 洪水警報 警戒レベル 3 発令 高齢者等避難		警戒レベル 4 発令 避難指示		警戒レベル 5 発令 緊急安全確保 大雨特別警報	
事前にしておくことリスト		避難するタイミングを記入しよう (複数の場所を想定しておこう)		逃げ遅れた場合の命を守る ための最善の行動を 記入しておこう					
マイタイムライン									
持出品の例 非常用持出袋 現金(いり銭) ヘルメット レインコート モバイルバッテリー 健康保険証 通帳 カード 常用薬 印鑑		事前の確認 マスク 消毒液 体温計 非常食 かんぱん 飲料水		避難判断 【我が家の避難スッチ】 警戒レベル( )で ( )する					